

2023年度

# 事業報告書

(自) 2023年 4月 1日

(至) 2024年 3月31日

社会福祉法人 北海道リハビリ

## 目 次

1	事業概況	1
2	決算概況	2
3	事業実施状況（拠点別）	8
	3-1 法人本部	
	3-2 クリーニング事業本部	
	3-3 リハビリー・クリーナース	
	3-4 リハビリー・おおぞら	
	3-5 クリーニング事業部	
	3-6 リハビリー・エイト	
	3-7 美しの森	
	3-8 セルプさっぽろ／ウェルプラザやまはな	
	3-9 エルフィンホーム／地域福祉推進室	
	3-10 ポプルス	
4	地域に向けた社会貢献の取り組み状況	39
	4-1 地域における公益的な取り組み	
	4-2 その他の地域貢献活動	
5	理事会・評議員会等	42
6	職員研修等	46
7	行事・事業等	49
8	施設見学の受け入れ状況	53
9	職場実習の受け入れ状況	54
10	施設設備整備実施報告	55
11	組織図	57
12	利用者・職員の在籍状況	58

# 1. 事業概況

---

2023年度は北海道リハビリーにとって創立60周年の節目の年になりました。今回は法人全体での祝賀会は開催せず、各拠点単位で利用者に喜んでもらえる行事を企画しました。またコロナの影響で3年間中止してきたボランティア・カーニバルは「北海道リハビリー夏まつり」と名称を変え、60周年記念行事として8月に盛大に開催することができました。

2020年の冬以来、法人経営を苦しめてきたコロナ禍は、5月に感染症法上の位置付けが5類に引き下げられましたが、23年度の法人内感染者（職員及び利用者）は127名になりました（22年度は205名）。9月にはエルフィンホームで延べ7名が感染するクラスターが発生しましたが、エイトの空きスペースを一時隔離に活用することで、さらなる感染の拡大を防ぐことができました。

一方、前年度から高値が続いていた重油は9月に1ℓ94.90円を記録し、予算単価の79円を大幅に超過しました。その後、政府による補助金の復活で70円台まで下がり、最終的な年度平均は前年度より4円高い79.84円となりました。ウクライナ戦争に続いて中東でも紛争が勃発し、世界経済は依然、予断を許さない状況が続いています。

このような厳しい環境ではあったものの、法人経営は前年度から引き続き堅調に推移し、特にクリーニング事業は物量の回復と粘り強い値上げ交渉の成果が表れ、全体の売上げが初めて17億円を超え、過去最高を記録（前年度比7.2%増）。特にクリーナーズは10.4%増と大幅な上昇となりました。その結果、法人全体のサービス活動増減差額は約1億円（予算比374%）の黒字、資金面でも当期資金収支差額合計は約1億3700万円（前年度比338%）が積み上がりました。

近年、新しい利用者の獲得が難しくなってきたと、しばしば書いてきましたが、相談事業所や特別支援学校等との連携を強化してきた成果が表れ、23年度は43名の新規利用者が法人に来てくれました。退所者を差し引いた純増は15名となり、元気に各拠点で頑張っています。

また「事業検討会議」を再び立ち上げ、法人の懸案である「総合的な人事政策」「エイトの空きスペース活用と新規事業」「やまはなのあり方を含むセルプの将来像」について議論し、11月に最終報告をまとめました。さらに長年の懸案であったクリーニング排水処理施設の改築を計画より前倒しして行ない、10月に工事が完了しました。この改築により排水処理のコストが従来よりも半減することが見込まれています。

グループホーム事業では、23年3月に新しいユニット「すずらん」（定員7名）がオープンし、短期入所事業も始めました。職員スタッフの処遇改善に向けた取組みとして、物価高に対応するため特例手当の増額を行いました。

以上のように、厳しい状況の中でも各拠点の精力的な取組みにより、2023年度の事業運営を順調に終えることができました。23年度は法人の第5期中期計画の最終年でしたが、「3年間かけて赤字からの脱却を果たし、さらに強い北海道リハビリーを作る」という中期計画の目標を、職員と利用者の頑張りによって達成できたことは大きな喜びです。経済状況は楽観できませんが、この堅調な流れを2024年度に繋げていきたいと考えています。

## 2. 決算概況

### 1. 財務状況

#### (1) 法人単位の貸借対照表

単位：千円

	総資産	総負債	純資産	純資産比率
2024年3月31日	4,608,217	1,575,393	3,032,825	65.8%
(前期比)	(△4,898)	(△54,130)	(+49,232)	(+1.1%)
2023年3月31日	4,613,115	1,629,523	2,983,592	64.7%

#### (2) 資産、負債及び純資産に関する説明

##### ① 資産の状況

流動資産は、前期比 183,114 千円増(14.5%増)の 1,444,989 千円となりました。主として現金預金が 139,696 千円、事業未収金が 17,367 千円、原材料が 24,157 千円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前期比 188,011 千円減(5.6%減)の 3,163,229 千円となりました。2023 年度は設備投資が少なく、既存資産の減価償却が進行したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前期比 4,898 千円減(0.1%減)の 4,608,217 千円となりました。

##### ② 負債の状況

流動負債は、前期比 22,985 千円増(4.1%増)の 578,269 千円となりました。主として事業未払金が 40,475 千円増加し、所内預金が 11,729 千円・未払消費税が 7,839 千円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前期比 77,115 千円減(7.2%減)の 997,124 千円となりました。主として設備資金借入金が 87,830 千円減少し、退職給付引当金が 13,250 千円増加したことなどによるものです。

この結果、総負債は、前期比 54,130 千円減(3.3%減)の 1,575,393 千円となりました。

##### ③ 純資産の状況

純資産は、前期比 49,232 千円増(1.7%増)の 3,032,825 千円となりました。主として国庫補助金等特別積立金が 44,442 千円減少したほか、サービス活動の業績良化により当期活動増減差額(当期純利益)を 93,674 千円計上したことによるものです。

自己資本比率は前期同水準の 65.8%となり、財務の健全性を保持しています。

【経営の安全性等に係る主な指標】			
流動比率	249.9%	固定比率	104.3%
当座比率	129.9%	負債比率	51.9%
手元流動性比率	3.3 ヶ月	自己資本比率(純資産比率)	65.8%

## 2. 経営成績

### (1) 法人単位の事業活動収支

【事業活動収支計算書】				単位：千円
	区分/科目	当年度決算	前年度決算	前期比
サービス活動	サービス活動収益計	2,843,711	2,685,788	105.9%
	サービス活動費用計	2,736,297	2,638,820	103.7%
	【サービス活動増減差額】	107,414	46,968	228.7%
サービス活動外	サービス活動外収益	8,897	4,764	186.8%
	サービス活動外費用	8,709	9,457	92.1%
	サービス活動増外増減差額	188	△4,693	204.0%
	【経常増減差額】	107,602	42,275	254.5%
特別増減	特別収益計	5,394	47,592	11.3%
	特別費用計	19,322	34,622	55.8%
	特別増減差額	△13,928	12,970	△107.4%
	【当期活動増減差額】	93,674	55,245	169.6%

### (2) 事業活動収支に関する説明

#### ① サービス活動増減の部

サービス活動収益は、前期比 157,923 千円増(5.9%増)の 2,843,711 千円となりました。主としてクリーニング事業が回復基調で推移したことにより就労支援事業収益が 107,535 千円・6.4%増加したことや、利用者増等により障害福祉サービス等事業収益が 52,296 千円・5.2%増加したことによるものです。

その他の収入としては、障害者雇用調整金 24,462 千円のほか、札幌市から食材高騰対策特別支援金 1,890 千円、北海道から食材料費支援金 1,327 千円及び物価高騰対策支援金 2,530 千円などを受給し、それぞれ障害福祉サービス等事業収益に計上しました。

サービス活動費用は、前期比 97,478 千円増(3.7%増)の 2,736,297 千円となりました。主として処遇改善による人件費増や燃料費・電気料・原材料等の高騰により、就労支援事業費用が 85,773 千円・5.3%増加したことなどによるものです。

**この結果、サービス活動増減差額は、前期比 60,445 千円増(128.7%増)の 107,414 千円となりました。**

#### ② サービス活動外増減の部

サービス活動外収益は、前期比 4,133 千円増(86.8%増)の 8,897 千円となりました。主なものとしては、出資先のメディカルクリーンアトリ(株)の会社清算に伴う精算配当金 3,953 千円を受取利息配当金収益に計上しました。

サービス活動外費用は、前期比 748 千円減(7.9%減)の 8,709 千円となりました。主なものとしては、クリーナーズ・おおぞらの施設整備資金借入金の返済利息 5,510 千円を支払利息に計上しました。

この結果、サービス活動外増減差額は、前期比 4,881 千円増(104.0%増)の 188 千円となりました。

**経常増減差額は、前期比 65,326 千円増(154.5%増)の 107,602 千円となりました。**

### ③ 特別増減の部

特別収益は、前期比 42,198 千円減(88.7%減)の 5,394 千円となりました。前期ではグループホームの建設補助金や雪害保険金受領等の収入があったことから大きく減少しました。特別収益の主なものとしては、セルフさっぽろのミシン整備に対する J K A 助成金 856 千円を施設整備等補助金収益に計上したほか、退職共済会から支給された職員退職金に係る清算分 3,264 千円をその他の特別収益に計上しました。

特別費用は、前期比 15,301 千円減(44.2%減)の 19,322 千円となりました。主なものとしては、排水処理施設の更新に伴う旧排水施設解体撤去費用 16,248 千円を固定資産売却損・処分損に、労働基準監督署より是正勧告を受けた深夜労働に対する遡及精算支払額 2,217 千円をその他の特別損失にそれぞれ計上しました。

この結果、特別増減差額は、前期比 26,898 千円減の△13,928 千円となりました。

以上により、当期活動増減差額は前期比 38,429 千円増(69.6%増)の 93,674 千円となりました。

厳しい経営環境ながら、就労支援事業・福祉事業ともに増収となり、本業のサービス活動において前期実績及び当期予算を上回る利益を計上したことから、2 期連続の黒字決算となりました。

## (3) 法人単位の資金収支

【資金収支計算書】					単位：千円
	区分/科目	当年度決算	当年度予算	予算比	
事業活動	事業活動収入計	2,851,732	2,803,180	101.7%	
	事業活動支出計	2,560,013	2,643,786	96.8%	
	【事業活動資金収支差額】	291,719	159,394	183.0%	
施設整備等	施設整備等収入計	1,324	0	-	
	施設整備等支出計	164,586	199,149	82.6%	
	【施設整備等資金収支差額】	△163,261	△199,149	118.0%	
その他の活動	その他の活動収入計	89,552	50,000	179.1%	
	その他の活動支出計	80,597	30,035	268.3%	
	【その他の活動資金収支差額】	8,956	19,965	44.9%	
【当期資金収支差額】		137,413	△19,790	894.4%	

※資金収支は会計基準に基づき予算との対比で表示しています

## (4) 法人単位資金収支に関する説明

### ① 事業活動による収支

事業活動収入は、予算比 48,552 千円増(1.7%増)の 2,851,732 千円、事業活動支出は、予算比 83,773 千円減(3.2%減)の 2,560,013 千円となりました。

収入増と支出減により、事業活動資金収支差額は、予算比 132,325 千円増(83.0%増)の 291,719 千円となりました。

## ② 施設整備等による収支

施設整備等収入は、1,324千円(予算計上なし)、施設整備等支出は、予算比34,563千円減(17.4%減)の164,586千円となりました。

収入では、セルフさっぽろのミシン整備に対するJKA助成金856千円を施設整備等補助金収入に、送迎バスの更新に伴う旧車両の売却収入468千円を固定資産売却収入にそれぞれ計上しました。

支出では、クリーナーズ・おおぞらの施設整備資金借入金の元金償還額87,830千円を設備資金借入金元金償還支出に計上しました。また、固定資産取得支出として、クリーニング作業棟の屋上防水工事4,100千円、おおぞらリネン管理倉庫改修工事4,309千円、クリーナーズ・おおぞらの排水処理施設更新工事31,380千円など、計57,709千円を支出計上しました。設備整備に係る資金借入は行いませんでした。

入札の執行等により固定資産取得支出が低減したことから、施設整備等資金収支差額は、予算比35,888千円増(18.0%増)の△163,261千円となりました。

## ③ その他の活動による収支

その他の活動収入は、予算比39,552千円増(79.1%増)の89,552千円、その他の活動支出は、予算比50,562千円増(168.3%増)の80,597千円となりました。

収入では、メディカルクリーンアトリ(株)の会社清算に伴う出資金の返還4,550千円(株式9,100口数分)、保有社債の満期償還50,000千円など計57,550千円を投資有価証券売却収入に計上しました。また、積立資産取崩収入として、職員の退職に伴う退職給付引当資産の取崩し16,360千円などを計上しました。

支出では、資金運用目的に購入した社債2本の取得支出50,000千円を投資有価証券取得支出に計上しました。また、積立資産支出として、退職給付引当資産積立28,380千円を計上しました。

この結果、その他の活動による資金収支差額は、予算比11,009千円減(55.1%減)の8,956千円となりました。

**以上により、当期資金収支差額は、予算比157,203千円増の137,413千円となりました。**

予算計上外の有価証券取得による支出増等の変動がありましたが、事業活動において予算を上回る資金を確保したことや、施設設備整備の入札等により固定資産取得支出を抑えることができたことなどから、計画を大きく上回る資金を計上することができました。

### 3. 拠点別の業績

#### (1) 拠点別の事業活動の状況

【事業活動収支 拠点内訳】							単位：千円
区分/科目	クリーナース	前期比	おおぞら	前期比	エイト	前期比	
就労支援事業収益	674,054	110.5%	1,033,506	104.5%	-		
福祉事業収益	163,034	102.7%	179,869	105.6%	226,837	110.3%	
サービス活動収益計	837,088	108.9%	1,213,375	104.7%	226,837	110.3%	
<b>サービス活動増減差額</b>	<b>38,454</b>	<b>106.8%</b>	<b>87,783</b>	<b>104.9%</b>	<b>10,618</b>	<b>542.4%</b>	
経常増減差額	36,768	136.0%	86,415	103.6%	11,735	601.2%	
当期活動増減差額	35,956	182.5%	74,536	88.1%	10,164	338.5%	

区分/科目	美しい森	前期比	セルフさっぽろ	前期比	エルフィン	前期比
就労支援事業収益	10,985	76.2%	83,678	104.1%	-	-
福祉事業収益	214,391	99.9%	156,275	99.5%	100,325	120.8%
サービス活動収益計	225,376	98.4%	239,953	101.0%	100,325	120.8%
<b>サービス活動増減差額</b>	<b>20,648</b>	<b>426.7%</b>	<b>10,953</b>	<b>1749.1%</b>	<b>641</b>	<b>211.8%</b>
経常増減差額	21,830	439.4%	11,838	2411.3%	644	211.8%
当期活動増減差額	22,827	445.2%	12,565	1760.4%	649	50.5%

区分/科目	ポプルス	前期比	収益事業	前期比
就労支援事業収益	-	-	-	-
福祉事業収益	11,153	112.6%	4,187	100.0%
サービス活動収益計	11,153	112.6%	4,187	100.0%
<b>サービス活動増減差額</b>	<b>△1,023</b>	<b>150.8%</b>	<b>1,394</b>	<b>104.5%</b>
経常増減差額	△988	152.5%	1,394	104.5%
当期活動増減差額	△988	152.5%	0	0%

#### (2) 拠点の事業活動に関する説明

##### ① リハビリー・クリーナース (障害福祉サービス事業所)

就労支援事業収益は、コロナ禍で停滞していた社会経済活動が再開し、ホテルリネン・ホテル産業品類の物量が増えたことや、値上げによる売上が相乗して増収となりました。

福祉事業収益は、利用者数・利用率ともに前年度を上回り、増収となりました。

##### ② リハビリー・おおぞら (障害福祉サービス事業所)

就労支援事業は、取引先病院の病床稼働率が緩やかな回復に留まり、物量は横ばいで推移しましたが、値上げによる売上げや新規取引品の契約獲得等により、就労支援事業収益は増収となりました。

福祉事業収益は、利用者数・利用率ともに前年度を上回り、増収となりました。



**③ リハビリー・エイト (障害者支援施設)**

生活介護事業の利用者数・利用率がともに上昇したことや、障害支援区分の高い方の利用が増えたことなどにより、福祉事業収益は増収となりました。

**④ 美しい森 (障害者支援施設)**

就労支援事業では、パンの製造販売は販路拡大に努めて売上は増加しました。施設外就労の清掃作業は、請負先を減じたことから作業収益は減収となりました。就労支援事業収益は全体で減収となりました。

福祉事業収益は、前年度並みで推移しました。

**⑤ セルプさっぽろ (障害福祉サービス事業所)**

就労支援事業では、縫製は大口スポット物件の受注減等により売上は減少しました。クリーニングは直営店舗の売上は減少したものの、会社産業品の物量増やクリーナーズから受託する洗濯料率を増額改定したことなどにより、やまはな事業所全体の就労支援事業収益は増収となりました。

福祉事業収益は、月寒事業所、やまはな事業所ともに前年度並みで推移しました。

**⑥ エルフィンホーム (共同生活援助事業/グループホーム)**

2022 年度下期に新ユニット「陽だまり」と「ずずらん」を開設し、定員を 35 名から 48 名(うち短期入所 1 名)に増員しました。福祉事業収益は入居者増に伴い増収となりました。

**⑦ ポプルス (特定相談支援事業所)**

サービス利用支援及び継続サービス利用支援の扱い件数の増加により、福祉事業収益は増収となりました。

### 3. 事業実施状況（拠点別）

#### 3-1 法人本部

##### ① 経営組織のガバナンスの維持と事業運営の透明性の確保に努めました。

- (ア) 評議員会、理事会、監事の役割・権限・責任等において、法人運営に関する基本方針や重要事項を決定するとともに、理事の職務執行状況等を監督するなど、経営組織のガバナンスを維持しました。
- (イ) 内部統制の実効性と財務規律を保持する観点から、監査法人を会計監査人に再任し、会計監査を継続しました。
- (ウ) 監事監査、会計監査人監査、税理士による税務確認を適時に実施し、事業報告・財務報告に対する信頼性の担保と経営の透明性の確保に努めました。会計監査人監査においては、2023年度計算書類に対し「無限定適正意見」の表明を受けました。

監査等の実施状況		
監事監査	5月16日	業務及び会計監査
	5月22日	監事協議会
	9月21日	業務監査（エイト・エルフィン）
	11月22日	業務監査及び会計監査（2023年度上半期事業状況・決算概況） 業務監査（クリーナース・おおぞら）
	3月26日	業務監査（セルプさっぽろ・美しの森）
会計監査人監査	4月10日～11日	期末実査
	5月18日～22日	期末監査・理事長デスカッション・監事コミュニケーション
	11月27日～29日	期中監査・理事長デスカッション・監事コミュニケーション
	3月6日	期中監査
税理士税務確認	5月9日	消費税等の税務確認 他
	11月9日	消費税等の税務確認 他

- (I) 業務の適正性及び効率性を確保するために内部監査人を設置し、各事業所の職務執行状況等について、内部監査を実施しました。監査結果は理事長及び経営会議に報告し、所要の対応を図りました。＜8月30日：クリーニング事業部／12月15日：美しの森・ポプルス／3月14日：リハビリー・エイト＞
- (オ) 法人の経営に重大な影響を及ぼすおそれのあるコンプライアンス違反に該当する事案及びコンプライアンスに関する通報窓口への申し出事案は発生しませんでした。

##### ② 法人創立 60 周年の節目にあたり、広報誌やホームページの特設サイト、記念ロゴの作成等を通じて周年情報及び事業活動を内外へ発信するとともに、記念行事を開催しました。

- (ア) ホームページ等を通じて 60 周年を周知するとともに、記念ロゴや記念タオル等を作成し、PRツールとして活用しました。記念タオルは夏まつりの来場者に配布しました。

- (イ) コロナ禍で中止を余儀なくされていたボランティア・カーニバルを4年振りに開催しました。名称を「北海道リハビリー夏まつり」に改め、60周年記念事業の一環として、催し内容をリニューアルして開催しました。
- (ウ) 60周年を記念して、各事業所で会食やエスコンフィールド HOKKAIDO の見学など、利用者が楽しめる行事を開催しました。



③ **新型コロナウイルスの感染対策を継続しました。5類感染症に移行したことを受けて、段階的に行事等の再開、行動制限を緩和するとともに、感染対策マニュアル、業務継続計画（以下「BCP」という。） 、就業上の特別措置を改定しました。**

- (ア) 北海道の「高齢者施設等の従業者等に対する集中的実施計画」に基づき、北広島施設の全職員を対象に抗原定性検査を集中的に実施しました。〈検査実施者:510人/うち26人陽性〉
- (イ) 職員・利用者に感染リスクが及んだ場合には、抗原定性検査キットを用いて検査を行い、施設内感染リスクの低減に努めました。
- (ウ) 北広島市及び西の里恵仁会病院の協力を得て、職員及び利用者を対象とした巡回集団接種を行いました。〈接種対象者/職員159人・利用274人・合計433人〉
- (エ) 感染症に係る特別休暇の弾力的運用、感染リスクが高い業務に従事した職員に対する特殊業務手当の支給、ワクチン接種休暇などの労務措置を引き続き講じました。

臨時的な労務措置の適用状況		
措置等	適用者数	適用延べ日数
感染者に対する特別休暇の付与	77人(実数)	266日
特殊業務手当の支給	21人(実数)	73日(219千円支給)
ワクチン接種休暇の付与	41人(実数)	49日

(オ) **新型コロナウイルス感染者の発生状況**

2023年度は、法人全体で127人（職員59人・利用者68人）が新型コロナウイルスに感染しました。エルフィンホームでは連続的に感染者が出ましたが、リハビリー・エイト内に設けた臨時療養所に隔離して大規模感染を回避しました。

新型コロナウイルスの発生状況（4月～3月）			
施設/部門	職員	利用者	計
リハビリー・クリーナース	12人	13人	25人
リハビリー・おおぞら	6人	11人	17人
リハビリー・エイト	4人	2人	6人
エルフィンホーム	10人	16人	26人
セルプさっぽろ	7人	20人	27人
美しの森	4人	6人	10人
クリーニング事業部	10人	-	10人
法人本部事務局	6人	-	6人
計	59人	68人	127人
累計感染者数（2020年4月～2024年3月）	158人	200人	358人

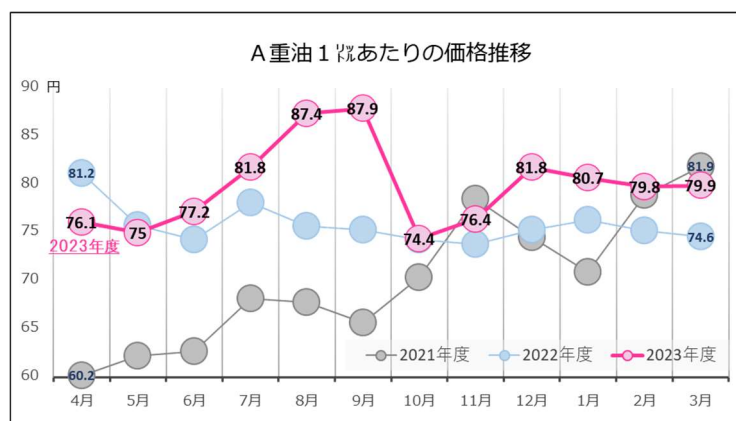
④ 福祉事業・就労支援事業の両サービス活動において目標利益の確保を目指しました。

- (ア) 福祉事業・就労支援事業ともに、物価上昇やエネルギー価格の高騰等により、事業費・製造原価等が増高し、経営を圧迫しました。福祉事業は、報酬改定がなされないなかで、利用者増と利用率を高める努力を続けて増収を図りました。就労支援事業は、主軸のクリーニング事業において、生産性の向上の取り組みや採算性の低い取引の解消を目指す粘り強い営業活動等を続けて、収支改善を図りました。
- (イ) 就労支援事業・福祉事業の両活動において目標利益の確保を目指しました。予算執行においては、最小経費で最大効果を上げるよう効率的な事業実施に努め、経費削減を図りながら、財務の健全性を保持しました。2023年度のサービス活動増減差額は、+107,414千円（予算比+78,675千円・373.8%、前期比+60,445千円・228.7%）の営業利益を計上しました。
- (ウ) 資金収支では、設備整備資金及び長期借入金の償還資金の確保と、一定の運転資金を常時保有する資金繰りの下に財務の健全性を保持しました。2023年度の当期資金収支差額は、+137,413千円（予算比+157,203千円・894.4%、前期比+237,077千円・337.9%）の支払資金を計上しました。
- (I) 設備整備及び修繕等は事業計画に基づいて実施しました。入札・契約にあたっては、競争の機会均等の原則に則り、公平性・透明性・経済性等が確保される調達方法により事業を執行し、事業費の圧縮に努めました。

入札の執行状況				
実施部門	クリーナス・おそろ	セルフさっぽろ	クリーナス・おそろ	セルフさっぽろ
事業名	クリーニング用 排水処理施設の更新事業	縫製用工業 マシン更新事業	排水処理施設 解体撤去工事	業務用ガス 冷房設備の更新
入札執行日	2023年4月19日	2023年6月26日	2023年10月17日	2024年2月1日
契約方法	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札	一般競争入札
入札参加業者	3者	3者	3者	4者
事業予算額(税込)	44,000,000円	1,452,000円	22,000,000円	25,500,000円
予定価格(税込)	40,700,000円	1,144,000円	15,500,000円	24,750,000円
落札金額(税込)	39,380,000円	1,141,751円	14,850,000円	20,570,000円
落札率	96.8%	99.8%	95.8%	83.1%
落札業者/契約業者	ヒロエンジニアリング(株)	ソーイングマシン・ホリイ	ヒロエンジニアリング(株)	山崎建設工業(株)
契約締結日	2023年4月25日	2023年6月30日	2023年10月17日	2024年2月2日
事業完了日	2023年10月21日	2023年10月2日	2023年11月29日	2024年上半年期予定
備考	自己資金	公益財団法人JKA 2023年度「公益事業振興 補助事業」採択 助成金額：856,313円 助成率：事業費の4分の3	自己資金	自己資金

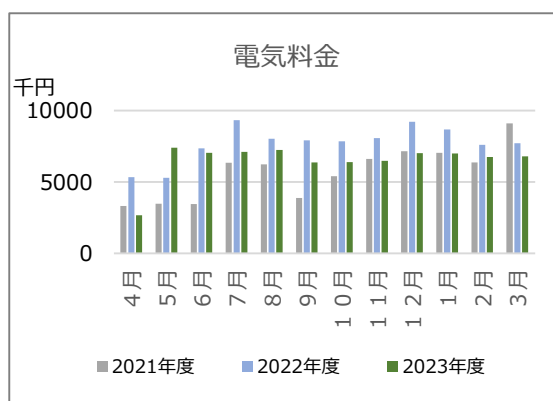
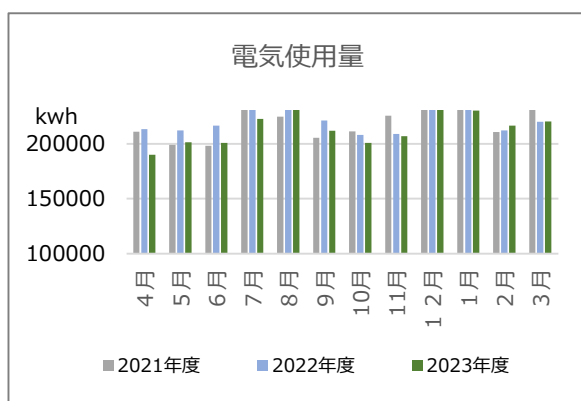
(オ) 燃料用A重油の購入については、指名業者8社による入札を月に2回実施し、最も低い価格を提示した業者から調達しました。2023年度のA重油の平均調達単価は79.84円/ℓ（前期比105.3%）と、前年度平均の75.83円/ℓ及び予算設定単価の79.00円/ℓを上回る高値で推移しました。

A重油使用量と金額						
年度	使用量	前期比	平均単価1ℓ	前期比	金額	前期比
2023年度	2,094.5 kℓ	105.7%	79.84 円	105.3%	166,637 千円	111.0%
2022年度	1,981.3 kℓ	106.9%	75.83 円	108.1%	150,070 千円	115.5%
2021年度	1,852.7 kℓ	99.9%	70.16 円	157.1%	129,985 千円	157%
2020年度	1,854.4 kℓ	81.5%	44.65 円	72.1%	82,798 千円	57.3%
2019年度	2,331.0 kℓ	100.6%	61.90 円	65.8%	144,294 千円	95.7%



(カ) 電気契約は、新電力の市場連動型を採用してきましたが、コスト削減メリットが得られ難い状況が続くとともに、市場動向による上振れリスクも高まっていることから、5月から北海道電力(株)との固定型契約に切り替えました。

2023年度の平均電力単価は、電気・ガス価格激変緩和対策事業の継続や燃料費調整単価が適用されたことにより、1kwhあたり30.3円と、前年度平均の34.6円/kwh及び予算設定単価の44.0円/kwhを下回りました。



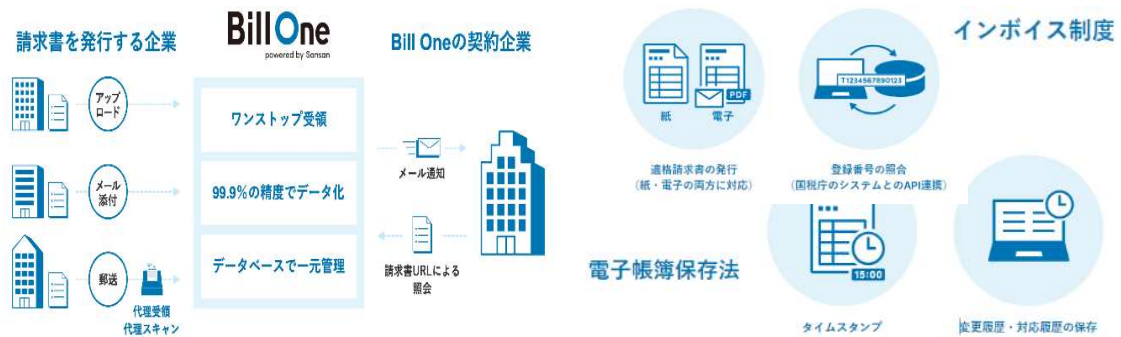
電気料金								単位：円	
年度	4月～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	前期比
2023年度	37,687,880	6,381,455	6,472,909	7,020,675	6,994,257	6,734,988	6,790,188	78,082,352	84.6%
2022年度	43,180,466	7,850,739	8,060,384	9,199,018	8,680,059	7,598,621	7,700,225	92,269,512	135.1%
2021年度	26,672,060	5,393,819	6,614,480	7,136,150	7,032,293	6,365,948	9,090,943	68,305,693	98.9%

⑤ 大規模災害や感染症の集団発生に備えて、非常災害対策計画やBCPに基づく教育訓練を実施しました。訓練を通して得られた課題や改善点を対応手順等に反映させ、BCPをブラッシュアップしました。

- (ア) 総合防災対策委員会を開催し、防災対策の実施状況や防災計画の確認等を行うとともに、各事業所において防災訓練を実施しました。
- (イ) 新型コロナウイルス感染症の位置付けが第5類に引き下げられたことを受けて、感染症マニュアル、対応フローチャート、BCPを改定しました。
- (ウ) 防災計画やBCPの実効性を高めるために、職員会議等において災害時の行動・役割等を確認しました。また、BCPの机上訓練を実施するとともに、能登半島地震を受け、エイトと共同で福祉避難所の開設訓練を実施し、避難所の開設、運営に係る課題等について情報共有を図りました。

⑥ 業務の効率化、省力化、情報の一元化等を図るため、基幹業務のシステム化に取り組みました。法人本部のICT担当者が各部門と連携し、システム等の構築・導入に向けた支援を行いました。

- (ア) 内決裁等のワークフロー、勤怠管理、経費精算等のバックオフィス業務をデジタル化し、各々のシステムを一元的に管理するデータベース一括管理型のクラウドシステム「jinjer」の本格運用を開始しました。
- (イ) インボイス制度(2023年10月)に対応するため、請求書の收受からデータ化までを代行し、請求書類のオンライン受領を可能とする請求書受領代行システム「Bill One」を導入しました。



- (ウ) 電子帳簿保存法(2024年1月)に対応するため、証憑類の電磁的保存やタイムスタンプ付与処理等のシステム化に向けた準備を進めました。導入したバックオフィスシステム「jinjer」及び「Bill One」を用いて電子保存を行うことを基本としています。

主なシステム等の導入状況			
システム等	所管課	導入・試験運用開始時期	運用開始
Jinger 経費精算システム	経理課	2023年 1月	2023年 4月
Jinger ワークフローシステム	総務課	2023年 10月	2024年 5月
Jinger 勤怠管理システム	人事課	2023年 5月	2023年 10月(一部)
Bill one 請求書受領代行・電子保存システム	経理課	2023年 10月	2023年 12月
Ace-system SMART II インボイス発行	事業部	2023年 6月	2023年 10月
MJS 給与明細書等の電子交付システム	人事課	2023年 9月	2023年 10月(一部)

**⑦ 将来を担う人材を計画的に確保・育成し、組織の成長と活性化を図ることを目的に、新卒採用に向けた活動を継続しました。2024年4月の新卒採用に向けて多様なチャネルを活用した採用活動を展開しました。**

(ア) 主な採用活動：インターネット就職ポータルサイト「マイナビ 2024」の活用  
法人HPに採用情報を掲載（マイナビとリンク）  
学校訪問、合同企業説明会、学内説明会、法人内説明会 など

(イ) 大学及び専門学校等からインターンシップや教育実習を受け入れるなど、今後の採用に繋げる活動を継続しました。＜実習等の受け入れ人数：12名＞

(ウ) 加盟している「北海道地域インターンシップ推進協議会」の事業を通して、法人施設のPRやインターンシップの実施情報を発信しました。

(エ) 2024年4月の新卒採用として、3名の入社が決定しました。＜配属先：エイト・美しい森＞

**⑧ 多様化・複雑化する福祉・介護ニーズに対応し、将来にわたって質の高い福祉サービスを継続的に提供する人材を確保育成するため、スキルアップ・キャリアアップに資する研修を実施しました。**

(ア) 福祉事業においては、障がい特性の理解促進、福祉サービスの向上、相談支援や介護技術等の専門技術の習得に係る研修に職員を参加させました。就労支援事業においては、生産性・技術力・品質・安全衛生等の向上のほか、営業力や販売促進の強化に資する研修に職員を参加させました。労務・安全衛生等に関しては、災害対策、労務管理、メンタルヘルス等に関する研修に職員を参加させました。

(イ) 法人主催の内部研修として、新任職員・中堅職員・管理職を対象とした階層別研修のほか、コミュニケーション活性化研修を実施しました。

(ウ) 事業継続と施設運営の中核を担う人材を養成するため、専門資格を取得する機会を提供しました。＜サービス管理責任者（更新3名）、サービス管理責任者（基礎1名）相談支援従事者（サービス管理責任者向け1名）、サービス管理責任者専門コース別研修（意思決定支援1名）社会福祉主事任用資格（1名）、強度行動障がい者支援者養成研修5名（基礎研修）、社会福祉士実習指導者講習（2名）など＞

(エ) 障害者虐待防止及び身体拘束等の適正化に関する法人指針に基づき、全ての施設職員を対象に、虐待防止と身体拘束防止に関する研修を実施しました。

⑨ **働きやすい職場環境の形成とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みを継続しました。また、新設した定年延長制度及び継続雇用制度の円滑な運用に努めました。**

- (ア) 年次有給休暇の取得促進を図るため、取得勧奨や計画的付与を促すための希望聴取を行いました。「次世代育成に係る北海道リハビリー行動計画」に掲げる全従業員 65%以上の年次有給休暇の取得を目指しています。〈2023 年度の全体平均取得率 75.0%〉
- (イ) 育児休業及び介護休業に関する理解促進を図るための説明・広報を適時に行い、制度活用を呼びかけました。また、休業給付等の公的支援の受給手続きを適切に行いました。〈2023 年度の取得状況：育児休業 1 名、産前産後休業 1 名、産後パパ育休 1 名、介護休業 0 名〉
- (ウ) 2022 年度末の定年到達者を対象にスタートした定年延長制度と新たな継続雇用制度の円滑な運用に努めました。〈2023 年度末定年到達者 5 名のうち 3 名が 65 歳定年へ移行〉

⑩ **「福祉・介護職員処遇改善加算」「福祉・介護職員等特定処遇改善加算」「福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算」等を活用して職員の給与改善を図りました。**

- (ア) 「福祉・介護職員等特定処遇改善加算」を原資として、6月に特定処遇改善手当を支給しました。※2020年4月から報酬取得

特定処遇改善手当の支給状況				
支給区分		手当年額	支給者数	支給総額（実支給額）
Aランク	経験・技能のある福祉職員	244,000 円	16 名	3,904,000 円
Bランク	他の福祉職員	114,000 円	43 名	4,902,000 円
Cランク	その他の職員	54,000 円	102 名	5,425,216 円
支給額計			161 名	14,231,216 円
特定処遇改善加算の取得済額				14,075,887 円

- (イ) 「福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算」を原資として、月毎に「臨時特例手当」を支給しました。急激な物価上昇に対応するため、インフレ手当見合いとして、基本額に 3,000 円を上乗せして支給しました。

臨時特例手当の支給状況（2023年4月～2024年3月）		
支給月額（基本額）	対象者数（3月現在）	支給総額（実支給額）
8,000 円（上乗せ分 3,000 円含む）	269 名	21,865,600 円
福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算の取得見込額（2023 年度）		12,625,000 円

- (ウ) 正職員及び契約職員の給与改善について、人事考課と連動した昇給制度の下で、4月に基本給の昇給を行いました。

2023 年度の昇給及び給与額の状況		
基本給の平均昇給率	■職員 1.80%	■契約職員 1.52%
臨時特例手当の増額分を含む平均昇給率	■職員 3.23%	■契約職員 3.34%
時間外勤務手当を除く 1 か月の平均給与額	■職員 273,497 円	■契約職員 194,206 円



⑪ **利用者集増の取り組みとして、法人本部配置の施設利用支援コーディネーターと拠点が連携して営業活動等を展開しました。**

(ア) 利用者の集増活動を行う専任担当者「施設利用支援コーディネーター」が、支援学校や関係機関へ訪問し、施設のPRや情報の提供、新グループホームの入居者募集、施設見学や体験利用を誘致するなどの営業活動を行いました。

<訪問学校数 142校、施設見学32件・実習28件・新規入所6名>

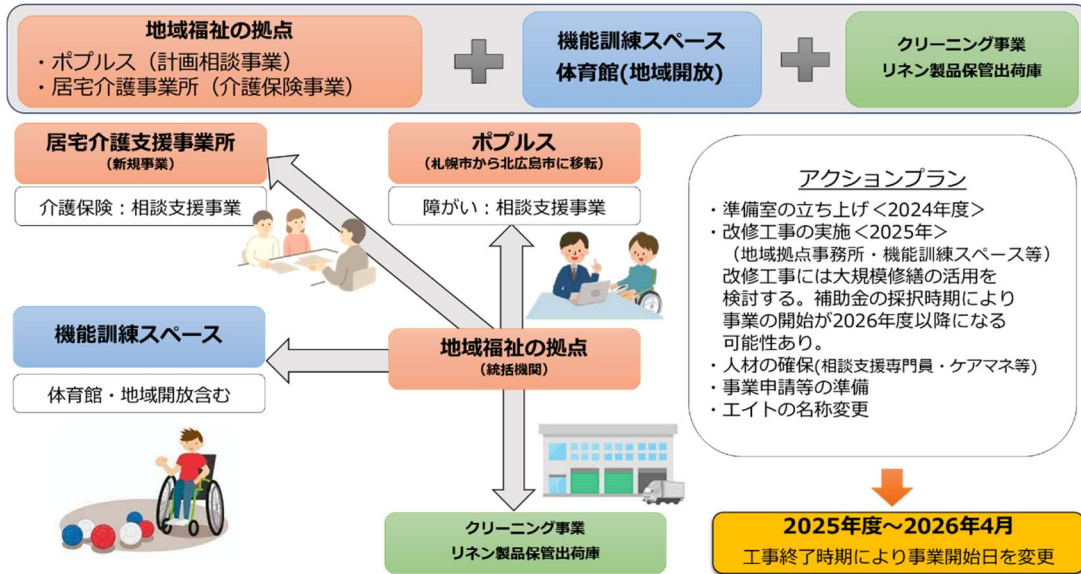
(イ) 新たなPRツールとして、ホームページ上で疑似的な施設見学を行う「施設見学動画」の制作を進めています。また、支援学校卒業の利用者の生活や作業の様子を紹介した「リハビリ一便り」を作成して出身校に発信するなど、学校との連携強化に努めました。

新規利用等の状況 (2023年4月～2024年3月)			
施設	新規利用	退所	増減
リハビリー・クリーナース	7名	4名	+3名
リハビリー・おおぞら	10名	7名	+3名
リハビリー・エイト	6名	2名	+4名
エルフィンホーム	6名	2名	+4名
セルプさっぽろ・ウェルプラザやまはな	5名	4名	+1名
美しい森	9名	9名	0名
計	43名	28名	15名

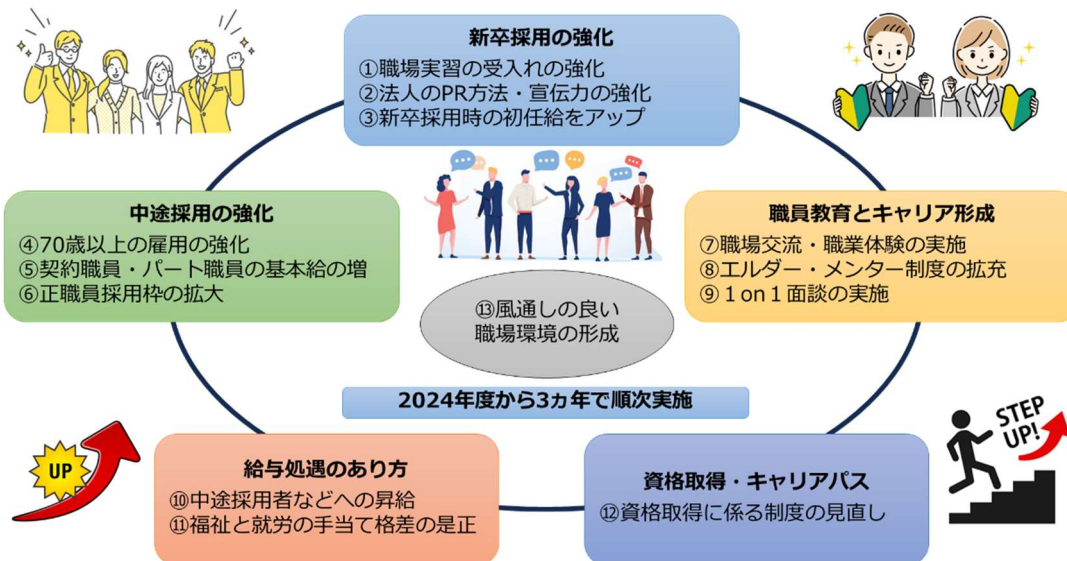
⑫ 事業検討会議及び拠点に設置したワーキンググループが共同して、エイトの空きスペースの活用、人材の確保育成等の人事施策、ウェルプラザやまはなの今後の事業展開などについて、集中的に議論を進めました。

(ア) 事業検討会議を再起動するとともに、関係拠点内にワーキンググループを立ち上げて各テーマについて協議検討を行い、検討結果を事業提案として（一部は検討報告として）経営会議へ上申しました。有用と認められた施策については、第6期中期事業計画（2024年～2026年）に計上して具現化を目指すこととしています。

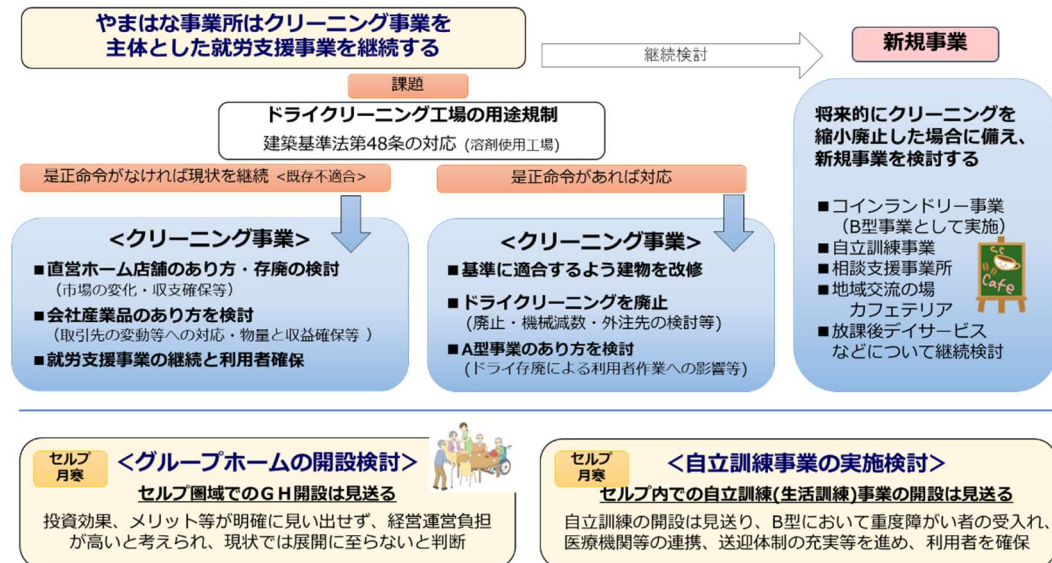
### エイトの空きスペース活用と新規事業に関する提言



### 総合的な人事政策に関する13の提言



## セルフさっぽろ／やまはなWGの検討状況報告



### ⑬ SDGsの「持続可能な社会と地域共生社会の実現」の趣旨を踏まえて、地域における公益的な活動を実施しました。

(ア) SDGsの持続可能な開発目標と関連付けながら、地域における公益的な取り組み及び地域貢献活動を継続しました。コロナ禍により多くの活動に制約があったものの、法人が有する資源を地域へ還元する活動を行いました。取り組み状況はSDGsの17の目標にマッピングして法人ホームページに公表しました。

(イ) 法人で行うSDGsの取り組みについて、法人ホームページや法人広報誌を活用して広く情報発信しました。

地域に向けた社会貢献の主な取り組み
① 生活困窮者自立支援法に基づく認定就労訓練事業の実施
② 災害時に福祉避難所を開設 (北広島市と福祉避難所の設置等に関する協定を締結)
③ 地域の社会資源等とのネットワークづくり～自立支援協議会、地域たすけあい会議、北広島市認知症高齢者等 SOS ネットワーク事業、障害支援区分認定審査会 (札幌市・北広島市) 北広島市保健福祉計画検討委員会等への参加
④ 季節労働者の通年雇用の促進に向けた取り組み
⑤ 地域の小中高校の総合学習授業への職員派遣
⑥ 施設周辺の環境美化活動の実施、地域清掃活動への参加
⑦ 地域の学校からのインターンシップや施設見学等の受け入れ
⑧ サロン活動や地域住民参加型の行事等を開催
⑨ 法人全施設にAEDを設置。AEDステーション等として登録し地域へ提供
⑩ 救急医療用ドクターヘリの離着陸場として施設構内を提供 など

⑭ 苦情相談の受付状況

福祉サービスに係る利用者からの苦情の申し出を1件受理しました。

当事者及び関係者への聞き取りや事実関係の調査を行うとともに、苦情相談委員会を開催し、第三者委員の助言等を踏まえた対応を図り、解決に至りました。

苦情解決の状況	
受付日	2023年11月11日
受付施設	リハビリ・クリーナース
申出人	就労継続支援A型事業利用者（精神障害・PTSD）
苦情対象者	法人本部事務局 契約職員
苦情内容	苦情対象者から「聞きたいことがあるので、作業訓練終了後に他の利用者と一緒に来るよう呼び出された」ことに対して不審感・疑心を抱くとともに、過去のPTSD体験と重なって精神的に不安定になった。今後、苦情対象者と接触する機会がないようにしてほしいなどの要望があったもの。
苦情相談委員会	・2023年12月8日 第三者委員2名出席により開催
解決の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果及び対応状況等を説明</li> <li>・苦情対象者の言動等について謝罪</li> <li>・苦情対象者の処分について説明</li> <li>・申出人の要望への対応について説明</li> <li>・申出人の障がい特性と精神面に配慮した支援の継続 など</li> </ul>
備考	苦情対象者に対しては、利用者処遇において不適切な対応が認められたため、就業規則に基づく懲戒処分とした。

## 3-2 クリーニング事業本部

### (1) 2023年度の事業収支

コロナ禍により厳しい環境に置かれていたホテルリネンサプライ関連事業は、社会経済活動の正常化とともに取引先ホテルや飲食店等の稼働率が徐々に上がり、取扱量は回復基調で推移しました。病院寝具リネンサプライ事業も、感染症法の類別変更以降、取引先病院の病床稼働率は緩やかながらも上昇に転じました。

こうした需要の回復を追い風に、営業部門、生産部門が一体となって、目標収益・目標利益の確保に努めました。クリーナーズにおいては、スリム化・効率化した生産体制を維持しながら、ホテルリネン関係の生産量増に対応するなど、赤字体質からの脱却を目指しました。また、クリーニング事業全体において、利益を生み出すための受注額の適正化と新規物件の獲得に向けた営業活動を継続しました。生産現場においては、導入したクリーニング基幹システムを活用し、集荷・生産・納品・販売管理等の一連の業務の効率化を進めました。

① クリーナーズでは、取引先ホテル等の稼働率上昇に比例してホテルリネン・ホテル産業品類の動きが活発化しました。計画的に進めている価格改定・値上げによる売上増も相乗し、クリーナーズ全体の就労支援事業収益は前期比で11%の増収となりました。

一方で、個人顧客等を主対象とするホームクリーニングは、少子高齢化や労働環境の変容、衣類素材の高機能化と家庭洗濯の容易化等を背景に市場規模の縮小が進みました。取次店の売上高は、テナント2店舗を撤退閉店したことなどから、前期比で11%の減となりました。

② おおぞらは、感染症法上の類別変更により取引先病院の病床稼働率がコロナ禍前の水準に戻ることを期待しましたが、緩やかな動きに留まりました。また、各病院ではコロナ禍を経て、リネンタオルから使い捨てタオルへ変更する動きが加速し、一部のリネン品の取扱量が減少しました。一方で、計画的に進めている価格改定や新規取引品の契約獲得等による売上の押し上げにより、おおぞら全体の就労支援事業収益は前期比で4.5%の増となりました。

③ ウェルプラザやまはなでは、会社産業品の価格改定・値上げを順次に行うとともに、専属外務員取扱品の料金を値上げするなど、収益率の底上げに努めました。また、工場経費を精査したうえで、クリーナーズから受託する洗濯料率を変更しました。これらにより、会社産業品類の売上高は前期比で26%の増となりました。

一方で、やまはな直営のホームクリーニング店舗は、料金値上げやセール開催等による増収を目指しましたが、店舗売上高は前期比で10%減と苦戦を強いられました。

## 3-3 リハビリ・クリーナーズ

### (1) 施設運営

- ① 利用者・職員がイベント等について、様々な意見やアイデアが出せる風通しがよい職場環境作りに取り組みました。上半期には猛暑対策について出された意見を基に「かき氷納涼会」を開催したほか、冷たい飲料水を定期的に提供して熱中症を予防するなど、様々なイベントを開催しました。また、下半期には、木下大サーカスの観覧をはじめ、法人創立 60 周年記念行事としてキッチンカーイベントを開催しました。
- ② クリーニング事業本部会議で取りまとめた顧客別対応策に基づき、値上げ交渉を進めると同時に、交渉不成立物件の解約等に取り組みました。また、配送ルートの再編・自社便の有効活用を行い、集配費用の低減に努めました。  
コロナ後のインバウンド需要増加により、ホテルリネンなどの入荷が最盛期の 90%程度まで回復しましたが、ホテル棟は原則木曜日の稼働停止（延べ 34 日間：前期比 75.5%）を継続し、生産コスト圧縮に努めました。
- ③ 新しく採用した若手職員に対して、対人スキル・コミュニケーション能力が向上するよう、外部研修・法人内部研修会へ計画的に参加させ、人材育成・組織体制の強化に取り組みました。
- ④ 利用者及び保護者から生活全般のニーズを確認し、関係機関と連携を取りながら、中・長期的な支援が行えるよう個々の状況に合わせた支援内容を支援計画に盛り込み、質の高いサービスが行えるよう取り組みました。
- ⑤ 福祉サービス第三者評価を受審しました。  
受審にあたり、評価基準の考え方と留意点を再確認して自己評価表を作成するとともに、評価機関が実施する訪問調査、面談等に適切に対応しました。  
第三者評価基準結果については、法人ホームページのほか、WAMネット、北海道福祉第三者評価事業に情報を公開しました。

#### <評価結果>

評価基準		項目数
a 評価	より良い福祉サービスの水準	32項目
b 評価	a 評価に至らない状態、多くの施設の状態	13項目
c 評価	b 評価以上の取り組みとなることを期待する状態	0項目

#### <高評価を受けた事項>

- ・組織としての相談体制
- ・障がい者の社会参加を支援する拠出金
- ・経営課題を明確にした中長期計画

#### <更なる取り組みが期待される事項>

- ・災害時における利用者家族への対応
- ・職員のスキルアッププログラムの継続実施

- ⑥ 福祉事業については、「視覚・聴覚言語障害者支援体制加算」要件の体制強化を継続し、福祉事業サービス活動増減差額は、+9,125 千円（予算比 139.7%、前期比 65.9%）となりました。

就労支援事業については、新型コロナウイルスが感染法上 5 類に引き下げられインバウンド増も影響し、ホテルなどの稼働率が高まったこと、粘り強い値上げ交渉、生産及び販管経費の低減の取り組みを継続した結果、就労支援事業のサービス増減差額は、+29,329 千円（予算比 2041.0%、前期比 410.5%）となり、福祉事業及び就労支援事業ともに収益改善が図れました。

- ⑦ 新型コロナウイルスが感染症法上 5 類に引き下げられた後も、通所時の検温・体調確認など基本的な感染対策を継続し、感染リスク低減に努めました。利用者 13 名（A 型 4 名・B 型 9 名）、職員 12 名が感染しましたが、BCP の感染者発生時対応フローチャートに基づき適切に対応した結果、施設内に感染拡大する事はありませんでした。

## （２）福祉事業

- ① 施設利用支援コーディネーター、関係機関と連携を図り、施設見学は延べ 276 名、実習受け入れは 8 名、うち 5 名（新卒利用者 2 名除く）が新規利用に繋がりました。一方で、4 名が退所となりましたが、目標の定員充足率 100%以上を達成しました。

また、体調不良等により、欠席連絡のあった利用者に対して、作業提供日の変更や短時間利用を促すなど、生活リズムの維持、収入面の安定や意欲向上に繋がるような声掛けを継続的に実施した結果、利用率が徐々に増加し、目標としていた利用率 90%以上を達成しました。

事業	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			実利用率		
			2023年度	2022年度	前期比	2023年度	2022年度	前期比
就労継続A型	15名	15名	95.0%	88.9%	106.9%	76.8%	69.6%	110.3%
就労継続B型	45名	62名	137.2%	134.1%	102.3%	102.2%	99.5%	102.7%
合計	60名	77名	126.7%	122.8%	103.2%	95.8%	92.0%	104.1%

※定員・現員は3月末現在 定員充足率・実利用率は年間平均

- ② 障がいの重度化・高齢化など利用者一人ひとりの心身の状況やニーズを把握するとともに、生活面の希望等を反映した個別支援計画を作成し、利用者が自立した社会生活を送れるよう支援を提供しました。

また、生産活動における知識・技術の習得を希望する利用者には資格取得を奨励し、資格取得にかかる費用については「利用者社会参加支援金」を活用しました。その結果 3 名が検定試験や資格取得に向けて取り組みました。

- ・手話検定 4 級：A 型 1 名不合格
- ・手話検定 5 級：B 型 1 名不合格
- ・クリーニング師：A 型 1 名不合格

- ③ 職員の資質向上を目的に、各種専門分野別に内外研修会の参加者が、習得した知識や技術を施設内で共有を図り、職員個々のキャリアアップ及び資格取得を奨励し、職員 2 名が研修を修了したほか、職員 4 名が資格を取得しました。

- ・新任相談援助職員研修：1 名修了
- ・札幌市要約筆記者初任者研修：1 名修了
- ・全国手話検定 2 級：1 名合格

- ・全国手話検定3級：1名合格
  - ・手話技能検Web3級：1名合格
  - ・クリーニング師：1名合格
- ④ 生活困窮者訓練事業について、福祉関係機関との連携を継続し、1名を受け入れ就労の機会を提供しました。その後、パート職員として採用しました。

### **(3) 就労支援事業**

- ① 社会情勢の動向を注視し、生産量の回復予測に合わせた人員補充を行いました。予測以上の回復となりました。また、職員の死亡退職・自己都合退職もあり、欠員補充が行えていない状況が続いたことから、引き続き、各ライン別の生産状況に応じた応援体制、他部門の協力応援を要請し、効率的な生産体制維持に努めました。
- ② 非効率・不採算顧客に対して、リネン資材の変更や生産効率が向上する仕上げなどの業務効率化、継続した値上げ交渉、契約形態の変更なども進め、採算性が高まるよう取り組みました。
- ③ 入荷量の変動に合わせた生産体制・人員配置を効率的に行い、一斉休日の継続実施、生産ラインの稼働時間短縮や規模縮小などにより、燃料費及び光熱費の抑制に取り組みました。また、機械設備の計画的なメンテナンス実施、部品交換作業等を内製化するための現場研修会を開催し、修繕費の圧縮に努めたほか、配送ルートの変更・自社の有効活用による、生産コストにおける価格上昇分を最大限圧縮できるよう取り組みました。
- ④ クリーニング作業棟の屋上防水シート張替え、大判綿プレス機の更新事業ともに事業が完了しました。



## 3-4 リハビリ・おぞら

### (1) 施設運営

- ① 今年度は、時季ごとに季節の移り変わりを実感しながら利用者間及び職員との交流を深めることを目的に、恒例イベント（合同打ち上げ焼肉会、かき氷納涼会）を開催し、利用者の意欲向上を図りました。  
また、法人創立 60 周年を記念し、利用者と職員が共に祝うイベント（キッチンカー派遣、新年会）を開催しました。3 年ぶりに開催した新年会は、利用者と職員が共に笑顔があふれ、1 年の始まりにふさわしい盛り上がりとなり、思い出づくりと明日への活力など心の活性化へ繋げることが出来ました。
- ② 軽作業部門は、重い障がいのある方の個性を活かすことが出来る作業形態を基本とし、職員とともに製品の開発や創作品づくりなどの活動を展開しました。完成した製品は、ショップ販売や各イベントに出品しながら活動を広く知らせることを通して、社会との繋がりと生きがいを感じてもらえる体制を整えました。
- ③ 利用者の定員を充足するため、特別支援学校や関係機関などのニーズを取り入れ、就労移行支援や就労継続支援など事業ごとの取り組みや特色・実績を示すなど、選ばれる施設に向けた取り組みを進めました。
- ④ 職員のスキル向上のため、就労及び福祉事業の業務内容に基づいた内部研修会を行いました。特に若手・中堅職員に対して、キャリアアップを図るための検定試験や資格取得を奨励しました。
  - ・就労部門（生産管理検定 2 級：職員 1 名：受験予定）
  - ・福祉部門（社会福祉主事任用資格：職員 1 名取得、全国手話検定 2 級：職員 1 名合格）
- ⑤ 利用者及び職員間のコミュニケーションを活性化するため、互いの立場や考えの理解を深めつつ、思いやりを持つことの大切さを伝えながら、明るく風通しの良い職場づくりに取り組みました。
- ⑥ 排水処理施設の更新事業は、計画工程に沿って順調に進み、機材関連の早期納入などにより、工期が約 1 ヶ月短縮され完了しました。更新工事においては、処理方式の変更や規模の縮小化・簡素化を実現した結果、建設費を大幅に抑えるとともに、汚泥処理に係るコストの削減や省力化・省人化に繋げることができました。
- ⑦ 施設全体のサービス活動増減差額は、87,783 千円となり、予算比 135.5%、前期比 102.0% となりました。
- ⑧ 新型コロナウイルスの感染対策は、BCP に基づく感染予防体制を構築するとともに、感染防止のための基本対策を周知し、福祉サービスと就労支援事業の安定的な運営に努めました。

#### 新型コロナウイルスの影響

法人内のガイドライン及びBCPに基づき、施設全体で感染防止の徹底に努めましたが年度内では、利用者 21 名、職員 6 名が感染し、利用率が低下するなど事業運営に影響が出ました。

就労支援事業では、取引先（有料老人ホーム）の閉館や病棟の縮小、ディスポタオルの普及によるタオル入荷量の減少など売上に影響が出ましたが、クリーニング事業部の協力のもと追加品目の契約や値上げ、入院セット導入に伴う価格改定などを積極的に進め、事業収支の安定化に努めました。

## (2) 福祉事業

- ① 今年度は、延べ 288 名の見学と 41 名の実習を受け入れました。見学受け入れの際には、働く利用者の声を直接聴く場を設けたり、障がい特性に応じた作業提供を行っていることなどの説明をしました。また、一般就労に向けた取り組みや就職実績を示すなど、施設の特徴を十分に感じてもらえる見学対応を行いました。

利用率向上を図るため、日中の巡回時には利用者との対話に重点を置き、職員からの声掛けを通して日々の変化など細かな気づきを大切にしました結果、利用率は前期比 4.3%増の 80.1%となりました。

今年度の新規利用者として、A型 1名、B型利用者 9名、計 10名を受け入れましたがA型利用者 1名、B型利用者 5名、計 6名が高齢化等を理由に退所となったことから、純増は 4名となりました。

事業	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			実利用率		
			2023年度	2022年度	前期比	2023年度	2022年度	前期比
就労継続A型	34名	29名	84.3%	84.3%	100.0%	74.2%	71.6%	103.6%
就労継続B型	60名	64名	110.3%	105.7%	104.3%	89.7%	86.1%	104.2%
就労移行	6名	2名	19.4%	20.8%	93.3%	16.7%	13.6%	122.8%
合計	100名	95名	96.0%	93.3%	102.9%	80.1%	76.8%	104.3%

※定員・現員は3月末現在 定員充足率・実利用率は年間平均

- ② 利用者個々の短期目標及び長期目標の達成に向けた支援内容を個別支援計画作成会議等で検証し、個々の課題や生活環境の変化等にも配慮しながら、技術指導と併せ生活環境の改善を盛り込んだサポート体制を整えました。
- ③ 障がいの重度化・高齢化等に伴い利用者個々の意向をもとに、作業内容や作業時間について柔軟に対応しながら、長期に亘り施設利用に繋がる環境づくりを進めました。
- ④ 従業員（42名）と参加希望の利用者（7名）を対象とした手話技術レベルアップ研修会を実施し、多様な障がい特性への対応ができる体制の推進を図りました。
- ⑤ 福祉事業のサービス活動増減差額は、20,537千円となり、予算比 182.7%、前期比 172.8%となりました。

## (3) 就労支援事業

- ① 安定的な生産体制維持のため、人員の作業能力と生産の流れを検証し、生産ラインの偏りをなくすとともに、配置換えや作業スペースの変更を行いました。また、曜日ごとに変動する入荷量に合わせて作業配分を見直すなど、生産体制の効率化並びに最適化を図りました。
- ② 部門ごとに、中堅及び若手職員に対し、作業全般の習得を進め、業務負担の偏りを平準化する取り組みを進めました。
- ③ 生産における部門間で日々の人員体制や物量・進捗状況等の情報を共有しながら、部門全体の効率化と生産性向上に取り組みました。
- ④ クリーニング事業部では、生産コストの上昇分を踏まえ寝具単価の見直しや入院セット導入に伴う価格改定などの値上げ交渉を計画的に進めました。また、生産部門では、製造コスト削減のため使用洗剤の見直しや統一化及び安価で良質な包装資材の選定を進めるとともに、生産体制の効率化に伴うボイラー稼働時間の抑止に努め、経費削減に取り組みました。

- ⑤ 病院寝具及びタオル関連の製品取り扱いについては、厳正な衛生管理を行ってきましたが、記録的な猛暑等（高温多湿）の影響により一部の製品から基準値を上回るセレウス菌が検出されました。

対応策として、洗剤メーカーの協力のもと殺菌効果が実証されている過酢酸を殺菌剤として適正使用するとともに、洗浄工程を見直しました。その結果、現在はセレウス菌・一般生菌ともに基準値内を保持しています。今後も殺菌方法や洗浄工程の検証、見直しなどを定期的の実施し、再発防止に努めます。

- ⑥ 就労事業のサービス活動増減差額は、66,638 千円となり予算比 127.4%、前期比 91.7% となりました。

### 3-5 クリーニング事業部

新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、行動制限の撤廃等により観光業などの市場状況は良好に推移しました。

昨年度から社会情勢不安により、エネルギー・資材高騰などが急激に進み、経営を圧迫しましたが、新規受託・不採算取引の見直しや値上げを計画的に進めた結果、就労支援事業の売上向上に貢献することができました。

2023年度クリーニング事業の売上実績は、1,727,089千円で予算比102.7%前期比107.2%、印刷事業は61,279千円で予算比132.6%前期比94.5%となりました。

① リハビリ・クリーナーズの売上実績は、予算比104.3%前期比110.4%となりました。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、北海道内各イベントが多く開催されたことから観光客等の動きが活発になり、ホテルリネン・ホテル産業の売上を伸ばすことができました。一方、ホームクリーニングの個人消費低迷や病院産業の医院閉鎖及び取引内容の減少等により厳しい状況でした。

不採算取引の見直し・値上げの取り組みにおいて、135件の見積提出を行い、105件の値上げを行うことができました。

また、2024年5月に大型ホテルが閉館となることから、新規物件の導入を検討しました。

② リハビリ・おおぞらの売上実績は、予算比101.3%前期比104.6%となりました。

新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、病院はコロナ禍前の運営体制に戻りましたが、入院患者数が増えず、病棟を閉鎖する病院もあることから、病院寝具・病衣・メディックの売上は厳しい状況が続きました。また、統合による中堅病院の閉鎖が1件ありました。

販売については、新規契約で紙おむつ販売や移転に伴うマットレス販売で大きく売上を伸ばすことができました。

値上げについては、資材変更を伴う契約更改も含め、契約先79件に見積を提出し、63件の値上げを行うことができ、おおぞらの就労支援事業に貢献することができました。

③ ウェルプラザやまはなの売上実績（やまはな店舗を除く）は、予算比115.1%前期比126.1%となりました。

2022年にホームクリーニング取次店1店舗が閉店しましたが、新たなスポーツジム1件の導入と外務員及び会社産業の不採算取引の見直し・値上げを順次行い、予算比及び前期比を超えることができました。

また、2024年5月に大型ホテルの閉館に伴い、被服クリーニングが大幅に売上減となることから、新規物件の導入を検討しました。

④ 印刷事業の売上実績は、予算比132.6%前期比94.5%となりました。

印刷事業は、継続的・定期的な取引が少ないものの、スポット契約で周年記念関連やカタログ等を確実に受注し、売上げ増に努めました。

また、メンテナンスを含めたWebサイト制作6件を受注し、予算比を上回ることができましたが、前年度受注した記念イベント等がなかったことから、前期比を上回ることができませんでした。

⑤ 各事業の売上実績及びクリーニング事業の値上実績（クリーニング事業部の収入状況まとめ）

●クリーニング事業 売上実績

単位：千円

	予 算	実 績	予算比	前期比
リハビリー・クリーナーズ	642,478	669,948	104.3%	110.4%
リハビリー・おおぞら	1,005,800	1,018,866	101.3%	104.6%
ウエルブラザやまはな	33,250	38,275	115.1%	126.1%
合 計	1,681,528	1,727,089	102.7%	107.2%

●クリーニング事業 値上実績

単位：千円

	件 数	実績(概算)
リハビリー・クリーナーズ	105 件	32,300
リハビリー・おおぞら	63 件	38,500
合 計	168 件	70,800

●印刷事業 売上実績

単位：千円

	予 算	実 績	予算比	前期比
合 計	46,200	61,279	132.6%	94.5%

- ⑥ リネン資材の値上げはありましたが、定期的に価格調査を行い安価な資材の仕入れに努めました。また、リネン品の大半は海外からの輸入品であり、生産国情勢により納期の遅れが生じていることから、工場の生産管理に合わせた適正な数量調整と資材運用を行うとともに、価格交渉により費用の削減に努めました。

また、配送ルートについても一部契約先の解約・変更、働き方改革関連法の施行（2024年問題）及び配送料の値上げ要請に伴い、自社配送便も含めルート編成の見直し及びルート1便の解約を行い外注費削減に努めました。

- ⑦ 新型コロナウイルスについては、事業部内で10名感染し、うち9名は病院・取次店のパート職員でした。いずれも本人及びその家族への感染で留まり、感染拡大には至りませんでした。

新型コロナウイルスBCPに基づき、感染拡大対策及び注意喚起の徹底をしましたが、新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことによりマスク着用・行動制限が緩和された影響から、数名の感染者が発生しました。

- ⑧ 風通しのよい職場づくりを促進するため、業務上の相談などを受容し、改善策を検討する環境を整備するとともに、毎日の朝礼等で売上状況や取引先とのトラブル、市場状況、社会情勢の変化について伝達するなど、情報共有を図りました。

また、契約更改や価格改定等の取引情報は、システムでの伝達と声掛けによる内容確認を必ず行い、コミュニケーションを図りながら、誤請求対策・防止に努めました。

- ⑨ リネン管理システム（2022.10導入）は、得意先ごとの売上管理や販売管理のほか、区分別の売上集計や契約情報管理等の整備を行いました。メディック部門では、当該システムへの移行により、発注・仕入・出荷管理の一元化が可能となり、運用の幅を広げました。

当該システムに連動した電子請求システムを導入し、250件の得意先の登録が完了し、業務の効率化が図られました。

また、一般クリーニング入庫管理システムの導入（2024）に向け、目的や費用対効果を考慮し、各工場の運営体制や作業効率等も踏まえたうえでシステム選定を行い、入札・契約等の準備を進めました。

- ⑩ 従業員・配送員の交通事故防止を図るため、2022年に義務付けられたアルコールチェックを確実に実施するとともに、体調管理チェック及び天候等に合わせた運転への注意喚起を適時行い、交通事故防止に努めました。
- ⑪ 不採算取引解消への取組計画(3か年)の最終年度として、目標件数407件の達成に向け、基幹システムのデータを活用しながら、地域や規模、業務形態に応じた値上げ・取引内容の改定等の折衝を継続的に行っています。  
3年間で465件の取引先に価格改定等の見積もりを提出し、うち406件の取引先と契約を更改しました。その結果、クリーニング事業全体の黒字化に大きく貢献することができました。

## 3-6 リハビリー・エイト

---

### (1) 施設運営

- ① 法人創立 60 周年行事として、ホテルエミシア札幌においてランチ会を開催しました。入所・通所利用者と職員で美味しい食事を頂き、日常とは少し違う素敵な時間を過ごしました。
- ② 年々、多様化する利用者ニーズに対して質の高いサービス提供ができるよう、施設内自主研修を 12 回実施（発表者:職員 22 名）し、職員の資質向上に努めました。また、利用者の意向や状況を正しく整理した個別支援計画を作成することで、利用者満足度向上に努めました。この結果、生活介護事業の実利用率は 103.2%となりました。
- ③ 毎日朝夕 2 回の職員ミーティングにおいて、報告・連絡の徹底を行い情報共有に取り組みました。また、生活支援員を 4 チームに分けて個別支援計画の策定を行い、そのなかで新たな提案や支援方法について意見交換を行う時間を増やすなど、職員同士が相談しやすい環境を整備しました。
- ④ ヒヤリ・ハットの報告が 50 件ありました。報告に基づいて改善策を毎月の職員会議で示し、改善状況を把握したことで、事故報告は 1 件（利用者の他害行為による事故）に止まり、重大事故に繋がらないように努めました。  
また、施設内各所を常に点検するとともに、BCPに基づく訓練を実施しました。
- ⑤ 生活介護事業の利用者が 4 名増となりました。（新規利用者 6 名 退所 2 名）重度障がい者を積極的に受け入れたほか、支援体制の強化等により利用率が向上し、年間総利用者数は前期比で 1,082 名増加しました。  
実利用率は前期比 3.9%増の 103.2%となり、この結果、介護給付費が増額しました。  
新規利用者を含む利用者増に伴い支援力の向上が急務となったことから、従来の支援方法（入浴支援）の変更や生活支援員の配置（廃タイヤボイラーの停止）の改善により支援力を確保しました。
- ⑥ リハビリー・エイト空きスペースの活用方法について、ワーキンググループを設置し、議論・検討を行いました。また、事業検討会議と協議を行いながら具体案を取りまとめ経営会議へ上申しました。
- ⑦ 新型コロナウイルスの感染対策として、日々のバイタルチェック等を継続実施するとともに、定期的に抗原定性検査を実施するなど、感染対策、感染拡大防止に努めましたが、利用者 1 名・職員 4 名が感染しました。  
また、法人内の入所施設で感染者が発生した場合の対応として、リハビリー・エイト内に臨時療養室を設置し、エルフィンホーム入所者 16 名を受け入れるなど、法人全体で協力して療養中の支援を行いました。

## (2) 福祉事業

- ① 特別支援学校、相談支援事業所等との連携に努め、施設見学や体験実習の受け入れをした結果、6名の新規利用に繋がりました。

紹介先	見学対応	体験自習	新規利用	備考
特別支援学校	7名	3名	1名	2024年度2名利用開始
相談支援事業所	4名	2名	3名	
法人内事業所	2名	-	1名	
その他	3名	1名	1名	

事業	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			実利用率		
			2023年度	2022年度	前期比	2023年度	2022年度	前期比
生活介護	40名	59名	144.4%	135.8%	106.3%	103.2%	99.3%	103.9%
施設入所	40名	40名	100.0%	99.3%	100.7%	95.1%	92.8%	102.5%

※定員・現員は3月末現在 定員充足率・実利用率は年間平均

- ② 生活介護事業において、月間レクリエーション表を作成し計画的に創作活動を行いました。日常のレクリエーション以外にも、焼肉会や縁日、キッチンカーイベント等も開催し、利用者楽しんで貰うなど、利用率向上に努めました。また、給食イベントも毎月実施し趣向と季節感を感じられるように取り組みました。
- ③ 生活介護事業のサービス提供プログラムの一つとして、生産活動（軽作業等）を継続し社会参加の機会を提供しました。  
生産活動には22名が参加し、施設利用の促進が図られました。
- ④ 給食サービスは、施設生活を送るうえで楽しみの一つであり、且つ利用者の健康維持、要介護状態や疾病の重度化を予防するなど、生活の質（QOL）の向上と、身体状況に合わせた栄養マネジメントに取り組み、利用者が安心・安全で、季節感等を感じられる楽しい食生活になるように努めました。
- ⑤ 毎月開催している個別支援計画策定会議及び新規利用者の入所検討会議（新規利用希望者の利用適否及び支援方法を議論）を開催して、全利用者が利用しやすく、心地よく過ごせる施設であるように取り組みました。
- ⑥ 職員の資質や介護・支援知識の向上のため、外部研修へ23名参加し、施設内自主研修を12回行いました。また、専門的な知識や支援技術の向上に努めた結果、1名が国家資格である介護福祉士に合格しました。
- ⑦ 美しの森と合同でのイベントを開催し利用者の交流を行いました。また、エルフィンホームや他施設の就労継続支援事業等を併用利用している利用者の個別支援計画策定にあたり情報共有を行い、多角的な視点で「考動」ができる職員育成に取り組みました。



## 3-7 美しい森

### (1) 施設運営

- ① 風通しのよい職場環境を作るため、各種会議等で専門職（看護師・栄養士）から順次発言を促すなど会議の進行を工夫し、活発な議論・意見交換しやすい環境を整備しました。また、随時、職員の意見等に耳を傾け業務改善や職員間の円滑なコミュニケーションの活性化に努めました。
- ② 利用者の高齢化・重度化に伴い、転倒事故などの発生リスクが高まる傾向にあり、今期の事故は9件、ヒヤリ・ハットの報告は3件でした。主な事故原因は、居室内や廊下歩行中などの転倒が8件、介助中にてんかん発作による転倒が1件でした。事故防止のため、利用者個々の心身状況に応じた助言や介助支援に努めました。  
また、事故報告、ヒヤリ・ハットについては会議等で全職員に周知徹底し、「介護事故ゼロ」を目標に事故等再発防止に取り組みました。
- ③ 施設生活を送るうえでの楽しみの一つである給食サービスについては、ご当地食材を使用した食事やリクエストメニューなど、利用者を楽しんでもらう様々な企画を実施するとともに、利用者を交えた給食会議を毎月開催し、利用者の意見や希望を反映した給食サービスに努めました。また、利用者の健康維持や疾病予防を図るため、医療機関や管理栄養士のもと、利用者一人ひとりの身体状況に合わせた適切な栄養マネジメントに取り組みました。
- ④ リハビリ・エイトと合同でフライングディスク大会を開催し、利用者間及び職員間の交流を図り、施設間での情報交換や利用者支援の向上に取り組みました。
- ⑤ 自然災害対策と感染症対策のBCPについては、適時検証を行いながら安全・安心な施設運営に取り組みました。

防災については、防災対策の実施状況や非常災害対策計画、BCPの確認等を行うとともに、災害発生時の事業停止等を防ぐため、定期的に施設内の設備機器・備蓄品等の点検、地震発生時の落下物による事故などが発生しないよう居室内のチェックを行いました。また、地震による火災を想定した避難訓練等を実施し、防災意識の徹底を図りました。

感染症については、職員4名・利用者6名が新型コロナウイルスに感染し、インフルエンザは職員3名・利用者3名が感染しましたが、施設内での集団感染を防止するために施設内消毒の徹底や抗原検査の実施、居室内待機など様々な対策を講じ、感染拡大を防ぐことができました。

### (2) 福祉事業

- ① 利用者一人ひとりの目標や目的に合わせた日中活動（生産活動・運動・レクリエーションなど）を、支援者目線ではなく利用者目線で提供するとともに、利用者の意見等を取り入れた楽器演奏やミニゲーム、季節行事の装飾作りなど、「利用者ファースト」を意識した質の高いサービス提供に努めました。  
また、法人創立60周年に際し、エミシア札幌において食事会を開催しました。職員によるクイズ大会、記念マグカップの贈呈など、思い出に残るお祝いとなりました。

事業	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			実利用率		
			2023年度	2022年度	前期比	2023年度	2022年度	前期比
生活介護	40名	72名	177.3%	171.5%	103.4%	97.8%	96.1%	101.8%
就労継続B型	20名	19名	102.1%	101.6%	100.5%	48.4%	52.8%	91.7%
合計	60名	91名	152.2%	149.4%	101.9%	81.3%	81.6%	99.6%
施設入所	30名	30名	93.8%	95.9%	97.8%	93.8%	95.9%	97.8%

※定員・現員は3月末現在 定員充足率・実利用率は年間平均

- ② 多様化する利用者ニーズに対応できるように、施設内自主研修を10回実施し、職員の資質や介護技術・知識の向上に努めました。なお、虐待防止及び身体拘束等に係る自主研修では、グループワークを取り入れ議論するなど、日々の支援の振り返りを促すとともに知識・技術の共有を図りました。

また、支援する目的や根拠の理解、福祉分野の視野を広げるなど資質向上を図るために、資格取得を奨励し、中堅職員1名が社会福祉主事任用資格を受講しました。

- ③ 地域の状況やニーズを踏まえ、施設の特徴を活かし地域と連携を図りながら利用率の向上に努めました。その結果、生活介護の利用率は前期比1.8%増の97.8%となりました。

### (3) 就労支援事業

- ① 利用者の希望する生活環境や本人や家族のニーズを踏まえ、作業技術の習得や地域で生活していくうえで必要な一般常識、生活スキルの向上に役立つ社会生活技能訓練（SST）を定期的に開催しました。
- ② パン製造作業では、利用者のアイデアを取り入れた販売イベントを4回開催しました。また、「北海道リハビリー夏まつり」や「高齢者施設主催の地域運動会」に出店するなど、積極的な営業活動を展開した結果、売上予算を達成することができました。
- ③ 多機能型事業所の強みを活かし、生活介護事業の利用者にもパン包装作業などを通して、就労意欲向上に繋がるような作業体験の機会を提供しました。

## 3-8 セルプさっぽろ／ウェルプラザやまはな

---

### (1) 施設運営

- ① 法人創立 60 周年記念ミニトートバック（付属缶バッチ含む）の製作にあたり、デザインを利用者から公募するなど、利用者と共に商品開発に取り組みました。完成した製品は、リハビリー夏まつりで販売しました。

また、法人創立 60 周年記念行事として月寒事業所では、10 月 14 日に「エスコンフィールド見学ツアー」を実施、ウェルプラザやまはなでは、2 月 15 日に「食事会」を開催しました。
- ② 9 月と 11 月に虐待防止研修を実施し、全従業員に対して虐待防止の意識向上に努めました。
- ③ ウェルプラザやまはなの就労支援事業収益改善については、クリーニング事業部との調整により、昨年 12 月から、会社産業部門の事業収益案分率を実態に基づいた料率に見直すとともに、既存取引先の入荷量増と 4 月からの新規取引の開始によってサービス活動増減差額はプラスとなりました。
- ④ 新規利用者の確保については、札幌近郊及び伊達方面の特別高等支援学校等 17 件を訪問し、関係強化に努め、就労アセスメントの受入れに繋がりました。精神障がいの受入れについては、今年度は実習受け入れがなかったため、2024 年度は積極的に関係機関へアプローチを行います。
- ⑤ 生活困窮者就労訓練事業においては、2023 年度の利用実績はありませんでした。
- ⑥ 障がいの状況や家族の事情等から通所手段がなくなる利用者 2 名に対し、ご家族と調整してドア to ドア送迎を 10 月から実施しました。

また、グループホーム及び自立訓練事業（生活訓練）については、ワーキンググループで事業内容等について検討を行い、グループホームの開設は見送り、自立訓練事業（生活訓練）についても、現時点では見送ることとし、事業検討会議に上申しました。
- ⑦ 新型コロナウイルスの感染者数は、月寒事業所で職員 6 名、利用者 13 名、ウェルプラザやまはなで職員 1 名、利用者 7 名の合計 27 名の陽性が確認されました。

陽性者発生時には接触者の状況確認、健康観察に努めるとともに、適時抗原検査を実施するなど、感染拡大を防止しました。

## (2) 福祉事業

- ① 個々のニーズに沿った支援を提供し、利用率の向上に努めました。月寒事業所では定員充足率 111.8%、利用率 91.7%、やまはなでは定員充足率 90.8%、利用率は新型コロナウイルスによる自宅療養等の影響から 78.0%となりました。

### 月寒事業所

事業	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			実利用率		
			2023年度	2022年度	前期比	2023年度	2022年度	前期比
就労継続B型	74名	85名	116.9%	115.8%	101.0%	95.6%	93.5%	102.3%
就労移行	6名	3名	48.6%	80.6%	60.3%	43.8%	72.9%	60.1%
合計	80名	88名	111.8%	113.1%	98.6%	91.7%	91.9%	99.8%

※定員・現員は3月末現在 定員充足率・実利用率は年間平均

### やまはな事業所

事業	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			実利用率		
			2023年度	2022年度	前期比	2023年度	2022年度	前期比
就労継続A型	10名	7名	70.0%	70.0%	100.0%	62.3%	64.8%	96.1%
就労継続B型	10名	11名	111.7%	106.7%	104.7%	93.4%	89.2%	104.7%
合計	20名	18名	90.8%	88.3%	102.8%	78.0%	77.0%	101.3%

※定員・現員は3月末現在 定員充足率・実利用率は年間平均

- ② 利用者の希望を丁寧にアセスメントし、保護者と情報の共有を図りながら、個別支援計画の立案とサービス提供に努めました。
- ③ 月寒事業所では、利用者個々の生活技能向上が図れるよう、目標に即したSSTを提供しました。プログラムを初級「就職を考えていない方」、中級「将来的に就職を目指している方」、上級「就職を目指している方」と3コースに分けて提供しました。
- ④ 新型コロナウイルスの感染対策を徹底し、利用者同士の関係作りや心身のリフレッシュができるよう、4月27日にセルフさっぽろ構内で「お花見会」、6月10日に「焼肉会」、12月16日は「クリスマス会」など、土曜日開所におけるイベントの充実を図りました。
- ⑤ 「セルフ菜園」では、作物を育てる楽しさや収穫の喜び、食べ物への感謝の気持ちを持てるよう、給食会議で菜園に植えた野菜について説明等を行い、食事に関する知識と食習慣を身に着けられるように支援しました。

## (3) 就労支援事業

### ○ 月寒事業所

- ① 取引先や関係団体等と連絡を密にして情報収集を行い、既存物件や新規物件の確保と単価見直しの交渉に努めました。縫製部門は受注商品7件に対して平均5.9%値上、軽作業部門は受注商品3件に対して平均12.3%値上、ウエス部門はシーツウエスを10%値上しました。
- ② 障がい特性を理解して、縫製・軽作業に関係なく広い範囲で、利用者が出来る作業の割当てを行うとともに、公益財団法人JKA補助事業を活用して、老朽化した機器設備（マシン5台）の更新を行い作業環境の改善に努めました。

- ③ 縫製部門では、利用者の障がい特性に応じた作業技術の向上を目的に、ハサミの取り扱いからロックミシンの操作、最終的には一本針ミシンの習得に移行できるよう、段階的に作業の機会を提供しました。
- ④ 縫製部門において、職員の経験値の向上とスキルアップを目的に、業務の変更、配置換え等を行いました。
- ⑤ 利用者と一緒に製造が出来る、スマホホルダーやミニトートバッグ、巾着、缶バッジ等のオリジナル商品開発を行い、「北海道リハビリー夏まつり」で販売しました。また、製品の完成度を高めてインターネット販売に取り組みましたが、年度内での販売には至らず 2024 年度での販売を目指します。

#### ○ ウェルプラザやまはな

- ① クリーニング事業部と連携を図り、集配ルートを有効活用してスポーツクラブのクリーニングを新規獲得するとともに、新型コロナウイルスの感染対策緩和により、既存取引先のホテルや飲食関係の入荷量が増加しました。
- ② 店舗運用について、POSレジから情報収集・検討を行いました。時間帯別の来客状況及びクリーニング品の処理件数等の結果を踏まえ、2024 年度から業務効率化のため営業時間帯や定休日、配置人員等の見直しを行います。
- ③ 作業能力向上のため、利用者の作業習得状況や障害特性などを勘案して、アイロン作業やプレス作業、たたみ作業のほか、集配業務の補助業務など幅広い業務の機会を提供しました。

## 3-9 エルフィンホーム／地域福祉推進室

### (1) 施設運営

- ① 新ユニット「すずらん」の開設に伴い若い入居者が増えたことから、事前に行事について説明し参加を促したことにより、自治会行事や町内会行事への参加に繋がりました。今後の自治会行事の内容について、入居者の希望を反映させていくため定期的にアンケートを実施し、自治会と相談して実施時期・内容を定めることとしました。

またWi-Fi設備を整備したことにより若い入居者が積極的に活用していますが、場所により通信状況が不安定で接続が途切れることがあったため、一部設備を増設することにより環境改善を図りました。

- ② 短期入所事業開始を周知するため、4月に案内チラシを法人内全事業所の利用者へ配布するとともに、法人の広報誌にも案内チラシを添付し、関係各所及び保護者等へ配布することで利用者確保に努めました。

今年度の利用状況については、おおぞらと美しの森利用者7名が利用、セルフさっぽろ利用者1名が見学しました。

短期入所の送迎については、原則事業所と自宅間としていますが、通所事業所間との送迎を希望する声もあったことから、利用者確保に繋げるため要望に対応する準備を進めました。

- ③ 陽だまり・すずらんの開設に伴う勤務体制の見直しとして、4月より世話人と夜警員の勤務時間を短縮し、それに伴い勤務内容についても見直しを行いました。

また今年度の入居状況については、入居6名、退居2名で、定員47名に対して現員は44名、定員充足率は93.6%でした。退居後の空室対応については、適時待機者を確保して入居に繋がられるように待機者に意思確認をし、入居に係る事務手続き等を効率的に進めました。

すずらんの空室対応については、来春からクリーナス・おおぞらを利用しグループホームへの入居を検討している学生のため2室確保していましたが、次年度の入居希望者がいなかったことから現在の通所利用者も対象に入居者確保を進めました。

- ④ 自治会行事として、5月：花植え、6月：初夏のお茶会、8月：花火大会・エルフィンファーム収穫祭、10月：社会見学（エスコンフィールド北海道）・ハロウィンイベント、12月：忘年会・クリスマス会を実施しました。3月開催予定のボウリング大会はコロナの影響で延期になりましたが、新型コロナウイルスで自粛していた行事を自治会の意向を取り入れながら再開することにより満足度の向上に努めました。

- ⑤ 地域での福祉活動の推進について、新型コロナウイルスも落ち着き地域活動が通常に戻ってきているなか、5月・7月・11月・3月には、以前のような集合形式での開催となった「地域たすけあい会議」に参加しました。また8月には「西の里地区夏まつり」の会場撤収作業の手伝いに参加し、地域貢献に努めました。

- ⑥ 新型コロナウイルスの感染状況について、4月に入居者3名（かえで2名・かわせみ1名）が新型コロナウイルスに感染し、陽性者は「リハビリ・エイト」にて隔離療養、2ユニットの入居者は濃厚接触者のためユニット待機としました。また9月に入居者7名（えぞりす6名・かえで1名）が陽性となる集団感染が発生し、その後も12月1名、1月2名、3月3名の感染者が出ましたが、新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことにより、法人の新型コロナウイルス対応フローに沿って陽性者は「リハビリ・エイト」にて隔離療養、感染者と同じユニットの入居者については、翌日以降体調が良好で抗原定性検査が陰性であれば作業参加としましたが、感染拡大することなく収束しました。

## (2) 福祉事業

- ① 入居者が日中利用している施設との合同支援会議の継続により、情報を共有するとともに、日中の支援状況も踏まえた個別支援計画の作成に努めました。

ユニット名	定員	現員 (登録者数)	定員充足率			実利用率		
			2023年度	2022年度	前期比	2023年度	2022年度	前期比
えぞりす	10名	10名	93.6%	87.2%	107.3%	85.4%	86.3%	99.0%
かわせみ	10名	10名						
クローバー	7名	7名						
かえで	8名	8名						
陽だまり	5名	4名						
すずらん	7名	5名						
合計	47名	44名						

※定員、現員、定員充足率は3月末現在 実利用率は年間平均

- ② 道社協主催の外部研修に7月1名、9月2名が参加、法人主催の研修には8月1名、9月2名が参加しました。また世話人・夜間支援従事者を対象とした内部研修については、5月に感染症研修、3月に虐待防止研修を実施し、支援スタッフのスキルアップを図りました。
- ③ 毎年実施している町内清掃は今年から一斉清掃に戻り、春は14名、秋は16名の入居者が参加しました。また今年度は広栄町内会、中央町内会、共に新型コロナウイルス発生以前の行事が再開しており、7月の広栄町内会親睦会に18名、8月の西の里地区夏まつりに16名、9月の中央町内会親睦会に5名の入居者がそれぞれ参加し、久しぶりに町内の方々との交流を楽しみました。
- ④ 下肢の脱力で入退院を繰り返していた入居者が、急なADL低下により、トイレや入浴の見守りが必要になってきたことから、8月に美しの森への施設替えを行いました。  
他にも高齢者施設や病院併設の施設への施設替えを検討している入居者がいることから、保護者と連絡を取り情報を共有しながら施設移行の準備を進めました。

## 3-10 ポプルス

---

### (1) 施設運営

- ① 利用者が望む生活を可能な限り実現するために、利用者の置かれている生活環境や社会資源の活用等を勘案し、関係サービス機関等から情報収集やサービス調整を行い、サービス等利用計画の作成に努めました。
- ② 各事業所、関係機関と常に情報交換を行い、福祉制度や社会資源の情報収集に努め、障がいのある方一人ひとりに適したサービスが受けられるよう情報提供を行いました。
- ③ セルフプランでサービス提供を受けている利用者に対して、ポップスの相談体制や機能等を説明するなど、ポップスが行うサービス等利用計画への切り替えを促しました。その結果、徐々に登録者数は増加しましたが、利用者の転居等に伴う登録者数の減少などもあり、目標の登録者数 185 名に対して 172 名となりました。

事業	2023年度 (契約者数)	2022年度 (契約者数)	契約増加数	前期比
相談支援	172名	171名	1名	100.6%

※新規 8 名、契約解除 7 名



## 4. 地域に向けた社会貢献の取り組み状況

### 4-1 地域における公益的な取り組み

#### (1)生活困窮者支援

○ **生活困窮者自立支援法に基づく「認定就労訓練事業」を実施しています**

長期離職者、ニートやひきこもり、心身に課題があるなどにより、直ちに一般就労が難しい、または就労に困難を抱える生活困窮者に対し、職場体験実習や就労の機会等の提供を通じて、社会復帰に向けた支援を行っています。

#### (2)地域に向けた事業展開

○ **A E D(自動体外式除細動器)を設置しています**

法人全施設にA E Dを設置し、緊急時や不測の事態等に迅速に対応できる、安心・安全な環境づくりに努めています。また、職員が適時普通救命講習を受講し、救命効果の向上を図るとともに、地域住民への情報発信として、日本救急医療財団「財団全国マップ」、北広島市「きたひろA E Dステーション」、札幌市「さっぽろ救急サポートセンター」に登録しており、A E Dの設置を広く公表しています。

○ **災害時に福祉避難所を開設します**

大規模災害発生時において、一般の避難所で生活することが困難な方々の避難場所として施設内に「福祉避難所」を開設し、地域の障がい者や高齢者等の要配慮者を受け入れます。安心して過ごせるよう、非常食・災害備品の備蓄や訓練を行っています。(北広島市と「災害時における福祉避難所の設置及び運営に関する協定」を締結)

○ **地域と連携した防災協力体制づくりに取り組んでいます**

- ・地域の医療機関、高齢者施設との3者による災害時の相互応援体制を定めています。
- ・地域の連合町内会の自主防災計画において、災害時に法人から必要な支援を行うことを定めるなど、地域住民・事業所と連携した相互支援体制を構築しています。

※道央圏の救急医療用ヘリコプター「ドクターヘリ」のランデブーポイント(場外離着陸場)として、施設構内を提供しています。

### (3)地域の社会的ニーズへの支援

#### ○ 季節労働者の通年雇用の促進に向けた支援を行っています

冬期間に離職を余儀なくされる季節労働者の通年雇用を促進するため、北広島市季節労働者通年雇用促進支援協議会と連携した就業支援を行っています。北広島市内に在住する季節労働者に対して、他業種で働く不安の解消や適性判断等を行うこと目的とした職場見学会や職場体験実習の機会を提供しています。

### (4)地域の社会資源等とのネットワークづくり

#### ○ 「地域たすけあい会議」に参画し、地域の包括的ケア体制の構築に取り組んでいます

西の里地域で働く福祉分野等の専門職による地域住民同士の助け合いの仕組みづくりや地域の包括的ケアなどについて、協議・実践するための地域会議「西の里たすけあい会議」に参画しています。年間を通じて、地域住民に向けた研修会や総合学習（車椅子体験学習等）を開催しているほか、高齢者住宅等の除雪活動、地区夏まつりの準備協力、近隣高校が行うボランティア活動への協力などを実践しています。

### (5)地域とのふれあい交流活動～施設開放行事の開催

#### ○ 地域交流イベント「ボランティア・カーニバル」を毎年開催しています

2023年度より「ボランティア・カーニバル」改め「北海道リハビリー夏まつり」に名称を変更

地域の障がい者・高齢者・住民との交流を目的とした施設開放イベントを毎年開催しています。地域の年中行事として定着したこのイベントには、地域の活動団体等の出演・出展・出店のほか、地元中学校の吹奏楽演奏の場の提供や大学生の会場設営ボランティアの参加などを通じて、地域コミュニティの形成と活性化を図っています。毎年、1,000名を超す地域の皆さんの参加・来場を得ています。

※2020年度・2021年度・2022年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止

## 4-2 その他の地域貢献活動

### (1)地域福祉の推進に向けたネットワーク活動

#### ○ 地域の自立支援協議会へ参加しています

地域の障がい福祉関係者等による相互連携や支援体制等に関する協議を行う場として設置された「障がい者自立支援協議会」に委員として参加しています。地域の現状や課題等の情報共有や情報発信、支援困難ケースの検討や障がいの理解を促進するための学習会の開催、障がい福祉計画に対する意見提出など、地域福祉の推進と課題の施策化に向けたネットワーク活動を実践しています。

## ○ 北広島市認知症高齢者等SOSネットワーク事業へ参加しています

徘徊または徘徊の恐れのある認知症高齢者や障がい者が行方不明になったときに迅速に対応し、早期発見・保護することを目的とした「北広島市認知症高齢者等SOSネットワーク事業」に参加（登録）しています。行政、警察署等の地域の関係機関との連携の下に、情報の相互提供や捜索協力などの支援を行っています。

## (2)地域に向けた事業展開

### ○ サロン活動や地域住民参加型の行事等を開催しています

施設内にコミュニティ・カフェを設置し、地域住民が日常的に集うことができる居場所づくりに取り組んでいます。また、地域住民参加型の施設開放行事の開催や町内会行事への参加等の相互交流を通じて、地域コミュニティを生み出す活動に取り組んでいます。

### ○ 施設周辺の環境美化活動を実施しています

地域の環境美化に資する取り組みとして、春と秋の年2回、施設構内から周辺国道歩道にかけて、ゴミ拾い清掃活動を行っています。また、グループホームにおいては、町内会の一斉清掃や花壇整備活動へ参加しています。

## (3)地域の相談支援ニーズへの対応

### ○ 特定相談支援事業所における各種相談への対応

特定相談支援事業所では、地域の障がい者が抱える様々な相談に対する窓口として、障がい福祉サービスの利用の有無に関わらず、障がい者やそのご家族からの一般的な相談にも広く応じ、必要な情報の提供や助言等を行っています。事業所が有する機能と専門性を地域に還元すべく、サービス等利用計画に関わる計画相談支援のみならず、地域の障がい者の様々な相談ニーズに対応しています。

## (4)地域に向けた福祉教育活動

### ○ 地域の学校からの職場実習やインターンシップ等を受け入れています

- ・地域の大学や専門学校から、実習生や研修生、インターンシップ等を多数受け入れています。
- ・北海道教育委員会が実施する公立学校教員向けの「初任段階教員研修事業」の受け入れ施設として事業に協力しています。施設内において、障がい者福祉に関わる講義研修や就労支援実習、介護実習等の研修を提供しています。
- ・地域の小中学校の総合学習授業への参加や職業体験・施設見学などを積極的に受け入れるなど、学校との連携による教育支援を行っています。

## 5. 理事会・評議員会等

開催日	審議内容等
6月14日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席理事数 7名）</p> <p>決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 2022年度事業報告（案） <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書、事業報告書別冊（附属資料）、第5期中期事業計画（2022年度報告）</li> </ul> </li> <li>② 2022年度計算書類及び財産目録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・決算書説明資料、第59期決算報告書、会計監査報告書、社会福祉充実残額算定</li> </ul> </li> <li>③ 2022年度監事監査報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・監査報告書</li> </ul> </li> <li>④ 規程の改定 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 経理規程の改定</li> <li>② 就業規則等の改定</li> <li>③ リハビリー・エイトの運営規程の改定</li> </ul> </li> <li>⑤ 夏期賞与の支給（職員・契約職員）</li> <li>⑥ 施設設備整備の実施計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・縫製用工業ミシンの更新（セルプさっぽろ）</li> </ul> </li> <li>⑦ 理事及び監事候補者の選定</li> <li>⑧ 2023年度定時評議員会の招集 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業報告    ② 計算書類及び財産目録    ③ 監事監査報告</li> <li>④ 事業計画及び予算</li> <li>① 理事及び監事の選任    ② 会計監査人の再任</li> <li>③ 常勤役員の報酬改定（役員等及び評議員報酬等支給規程の改定）</li> </ul> </li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 理事長からの業務報告（理事長専決事項）</li> <li>② 常務理事（業務執行理事）からの業務執行状況報告</li> <li>③ 事業実績（2023年2月～3月・4月）</li> <li>④ 運営状況報告（2023年3月～6月）</li> <li>⑤ 監事監査報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度第4四半期監事監査報告（セルプさっぽろ・美しの森・ポプルス）</li> </ul> </li> <li>⑥ 労働基準監督署の立入調査の結果と対応状況報告</li> <li>⑦ 札幌市による指導監査の結果報告及び対応状況報告</li> </ul> <p>その他</p>

開催日	審議内容等
6月29日	<p>【定時評議員会】</p> <p>会場：北海道リハビリ 法人本部 会議室（出席評議員数 9名）</p> <p>報告事項 ① 2022年度事業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業報告書、事業報告書別冊（付属資料）、第5期中期事業計画報告（2022年度報告）</li> </ul> <p>② 2022年度計算書類及び財産目録</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 決算書説明資料、第59期決算報告書、会計監査報告書、社会福祉充実残額算定</li> </ul> <p>③ 2022年度監事監査報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査報告書</li> </ul> <p>④ 2023年度事業計画及び予算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画書、事業活動予算書及び資金収支予算書、第5期中期事業計画</li> </ul> <p>決議事項 ① 理事及び監事の選任</p> <p>② 会計監査人の再任</p> <p>③ 常勤役員の報酬改定（役員等及び評議員報酬等支給規程の改定）</p> <p>その他</p>
6月29日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：北海道リハビリ 法人本部 会議室（出席理事数 7名）</p> <p>決議事項 ① 理事長の選定</p> <p>② 常務理事（業務執行理事）の選定</p> <p>③ 資金運用審査委員の選任</p> <p>④ 退任役員への特別功労金の支給</p> <p>⑤ 会計監査人の報酬</p> <p>その他</p>
9月8日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：北海道リハビリ 法人本部 会議室（出席理事数 6名）</p> <p>決議事項 ① 施設設備整備の実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 排水処理施設の解体撤去工事（クリーナース、おおぞら）</li> </ul> <p>報告事項 ① 理事長からの業務報告（理事長専決事項）</p> <p>② 事業実績（2023年5月～7月）</p> <p>③ 運営状況報告（2023年6月～9月）</p> <p>その他</p>

開催日	審 議 内 容 等
12月14日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席理事数 7名）</p> <p>決議事項 ①年末賞与の支給（職員・契約職員）  ②施設設備整備の実施計画  ・業務用ガス冷暖房設備の更新（セルプさっぽろ）</p> <p>報告事項 ①監事監査報告（エイト・エルフィン）  監事監査報告  （2023年度上半期事業実施状況及び決算状況・クリーナース・おおぞら）  ②2023年度上半期事業状況及び決算概況  ③理事長からの業務報告（理事長専決事項）  ④常務理事（業務執行理事）からの業務執行状況報告  （2023年6月～12月）  ⑤事業実績（2023年8月～10月）  ⑥運営状況報告（2023年9月～12月）  ⑦施設設備整備の実施報告  ・クリーニング用排水処理施設の更新（クリーナース・おおぞら）  ・排水処理施設の解体撤去工事（クリーナース・おおぞら）</p> <p>その他</p>

開催日	審議内容等
3月19日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：北海道リハビリ 法人本部 会議室（出席理事数 7名）</p> <p>決議事項 ①2024年度事業計画(案)及び予算(案)（2023年度決算見込みを含む） ・第6期中期事業計画（案）</p> <p>②ベースアップの実施</p> <p>③規程等の改定 ・就業規則等の改定 ・運営規程の改定 （クリーナース・おおぞら・エイト・美しの森・セルプさっぽろ・エルフィン）</p> <p>④施設長等の選任</p> <p>⑤施設設備整備の実施計画及び事前協議 ・実施計画：一般クリーニング品工場入出庫管理システム導入事業 （クリーニング事業部） ・実施計画：スプリンクラー設備の導入事業 （美しの森） ・事前協議：クリーニング関連に係る省エネ設備等導入促進事業の立ち上げ及び設備整備等の実施計画 （クリーナース・おおぞら）</p> <p>⑥建設委員会の設置及び委員の選任並びに権限委任</p> <p>⑦役員等賠償責任保険の契約内容の決定</p> <p>⑧労働組合からの要求に対する回答</p> <p>⑨当座貸越(借越)契約及び所内預金の保全に係る債務保証契約の締結</p> <p>報告事項 ①理事長からの業務報告（理事長専決事項） ②常務理事（業務執行理事）からの業務執行状況報告 ③札幌市による施設運営指導監査の結果報告と改善状況 ④事業実績（2023年11月～2024年1月） ⑤運営状況報告（2023年12月～2024年3月） ⑥福祉サービス第三者評価の受審結果（クリーナース）</p> <p>その他 2024年度（令和6年度）障害福祉サービス等報酬改定の概要</p>

## 6. 職員研修等

※主な研修等を記載

	開催日	研修名	主催者等
1	4月 3日	2023年度新人職員研修	北海道リハビリ
2	5月11、23日	2023年度要約筆記者初任者研修	札幌市身体障害者福祉協会
3	31日	北海道障害者職業センター関係職員向け利用説明会	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構
4	6月12日	総務・労務管理専門研修	北海道社会福祉協議会
5	〃	接遇・マナー基礎研修	〃
6	16日	社会福祉施設BCP（事業継続計画）策定研修	〃
7	29日	施設・社協職員のための「会議を進める」技術向上研修	〃
8	7月7、28日	相談支援従事者研修	特定非営利活動法人きなはれ
9	10日	経理担当者・管理者のための基礎研修	北海道社会福祉協議会
10	〃	福祉職場における感染症対策研修	〃
11	〃	新任相談援助職員研修	〃
12	11～12日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修（初任者コース）	〃
13	14日	新任職員研修	北海道リハビリ
14	〃	介護職員専門研修Ⅱ（3）	北海道社会福祉協議会
15	21日	中堅職員研修	北海道リハビリ
16	24日	人材採用セミナー	(株)ジェイ・ブロード
17	27日	女性活躍推進セミナー	北海道 環境生活部
18	8月1、2日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修（中堅職員コース）	北海道社会福祉協議会
19	2日	介護職員専門研修Ⅰ（5）	〃
20	4日	コミュニケーション活性化に資する研修Ⅰ	北海道リハビリ
21	〃	介護職員専門研修Ⅰ	北海道社会福祉協議会
22	7日	経理業務のよくある“疑問”	札幌南法人会
23	〃	新任介護職員研修（4）	北海道社会福祉協議会
24	14日	経理担当者研修	〃
25	〃	相談援助職員専門研修	〃
26	22日	社会就労センター施設長・職員研修	北海道社会就労センター協議会
27	24日	施設・社協職員のための「伝える」技術向上研修	北海道社会福祉協議会
28	24～25日	令和5年度スーパービジョン研修	〃
29	28日	メンタルヘルスケア研修	〃
30	9月 1日	幹部（管理）職員研修	北海道リハビリ
31	2日	クリーニング師試験講習会	北海道クリーニング生活衛生同業組合



	開催日	研修名	主催者等
32	4日	個別支援の実現に向けたケアガイドライン研修会	北海道身体障害者福祉施設協議会
33	10月 4日	エルダー・メンター制度導入支援研修(2)	北海道社会福祉協議会
34	14～15日	社会福祉士実習指導者講習会	北海道社会福祉士会
35	19日	北海道サービス管理責任者(基礎)研修	特定非営利活動法人きなはれ
36	17、19日	障がい者虐待防止研修会	北広島市保健福祉部福祉総合相談室
37	18日	令和5年度研修会	札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会
38	24～25日	施設長・職員研修会	北海道身体障害者授産施設連絡協議会
39	25日	ワタキュークリーン伊達工場視察	一般社団法人 リネンサプライ協議会
40	26日	身体障害者福祉施設職員研修会	北海道身体障害者福祉施設協議会
41	26～27日	病院寝具管理士認定講習会	一般社団法人日本病院寝具協会
42	27日	利用者の工賃向上と就労支援を考える研修in北広島	北海道社会就労センター協議会
43	11月 8日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(ファミリーダークコースⅡ)	北海道社会福祉協議会
44	24日	F.V I L L A G E 視察研修	北広島市危険物安全協会
45	12月 14日	指定障害福祉サービス事業所等に対する集団指導	北海道石狩振興局
46	1月 17日	I S O 9001 (品質マネジメントシステム) 入門セミナー	一般財団法人日本品質保証機構
47	30日	障害のある人の質の高い就労生活を実現するための就労定着支援セミナー	学校法人高松学園高松大学発達科学部 山口明乙香研究室
48	2月 1日	普通救命講習Ⅰ(北広島市消防署)	北海道リハビリリー
49	3～4日	北海道強度行動障害者支援者養成研修(基礎研修)	こころりんく東川
50	6日	経営実務セミナー	北海道社会福祉法人経営者協議会
51	8日	法人役員・施設長専門研修	北海道社会福祉協議会
52	〃	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修(施設従事者研修)	北海道保健福祉部
53	〃	普通救命講習Ⅰ(北広島市消防署)	北海道リハビリリー
54	10～14日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング	全国社会福祉協議会 中央福祉学院
55	15日	普通救命講習Ⅰ(北広島市消防署)	北海道リハビリリー
56	〃	障害福祉サービス事業者等指導監査実施要綱に基づく集団指導	札幌市保健福祉局
57	〃	ごみ処理広域化などに関する事業者むけ説明会	北広島市 市民環境部 環境課
58	16日	身体障害者福祉施設研究セミナー	北海道身体障害者福祉施設協議会
59	18～22日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング	全国社会福祉協議会 中央福祉学院
60	21～22日	令和5年度センター長研修会	全国社会就労センター協議会
61	28日	令和5年度定着支援地域連携モデルに係る調査事業報告セミナー	全国就業支援ネットワーク
62	3月 11日	サービス管理責任者更新研修	特定非営利活動法人きなはれ
63	12日	第2回施設長・職員研修会	北海道社会就労センター協議会
64	21日	令和5年度施設職員スキルアップ講座(新任職員)	特定非営利活動法人きなはれ

	開催日	研修名	主催者等
65	22日	正職員登用者研修	北海道リハビリ
66	3月28~29日	北海道強度行動障害者支援者養成研修（基礎研修）	社会福祉法人はるにれの里
67	29日	サービス管理責任者意思決定支援研修	特定非営利活動法人きなはれ

拠点別の職員研修参加者数（合計:延べ347名）				
法人本部 72名	クリーナース 52名	おおぞら 87名	クリーニング事業部 7名	エイト 49名
美しい森 28名	セルフさっぽろ 26名	地域福祉推進室 25名	ポプルス 1名	

## 7. 行事・事業等

※主な行事・事業等を記載

開催日	行事・事業内容	
4月3日	辞令交付式・入社式	
6日	札幌日大高等学校入学式	法人本部
10日	北広島西高等学校入学式	法人本部
10、11日	会計監査人会計監査（監査法人ライトハウス）	法人本部
19日	一般競争入札（クリーニング用排水処理施設の更新）	クリーナース、おおぞら
5月9日	澁谷税理士による税務確認	法人本部
11日	サード・アイ合同会社による第三者評価	クリーナース
14日	広栄・中央町内会 春の一斉清掃	エルフィン
16日	第1四半期監事監査（野村監事、佐藤監事）	法人本部
〃	第1回西の里たすけあい会議	エルフィン
18～22日	会計監査人会計監査（監査法人ライトハウス）	法人本部
20日	札幌ドーム社会見学（レクリエーション）	美しの森
〃	サケのふるさと千歳水族館見学（レクリエーション）	セルブさっぽろ
22日	監事協議会（野村監事、佐藤監事）	法人本部
30日、6月13日	新型コロナウイルスワクチン 巡回接種（北広島施設の入所・通所利用者、職員を対象とした巡回接種）	
6月4日	第23回札幌市障がい者スポーツ大会（すずらんぴつく2023）	美しの森
12日	サード・アイ合同会社による第三者評価	クリーナース
19日	HBN合同会社説明会	法人本部
26日	指名競争入札（縫製用工業ミシンの更新事業）	セルブ、法人本部
27日、7月4日	新型コロナウイルスワクチン 巡回接種（北広島施設の入所・通所利用者、職員を対象とした巡回接種）	
7月2日	広栄町内会 親睦焼肉バーベキュー会	エルフィン
8日	札幌下水道科学館見学（レクリエーション）	セルブさっぽろ
19日	北広島市内情報交換会（北ひろしま福祉会）	クリーナース
23日	北海道社会福祉協議会「第1回福祉職場説明会」	法人本部
25日	新卒採用者向け法人説明・見学会	おおぞら、エイト、法人本部
8月1日	石狩教育研修センター「特別支援教員理論研修会」	
9日	移動献血車（クリーニングエリア）	
27日	第47回北海道リハビリ夏まつり	
9月5日	木下大サーカス（レクリエーション）	美しの森
9日	サッポロピリカコタン見学（土曜日開所）	セルブさっぽろ

開催日	行事・事業内容	
9月14日	HBN合同説明会	法人本部
16日	ホテルエミシア会食（法人創立60周年記念行事）	エイト
21日	第2四半期監事監査（野村監事）	エイト、法人本部
22日	新卒採用向け法人説明・見学会	おおぞら、エイト、法人本部
22日	札幌子ども専門学校「学内説明会」	法人本部
10月3日	新型コロナウイルスワクチン 病院接種	北広島施設
4日	北海道リハビリ体験学習（北広島西高校）	北広島施設
5、6日	ふくしの市（主催：北海道社会就労センター協議会）	法人本部
6日	北海道リハビリ体験学習（北広島西高校）	北広島施設
10日	ノーマライゼーション学習意見交流会（北広島西高校）	北広島施設
〃	利用者・職員 定期健康診断	エイト、法人本部
11日	一般競争入札（クリーニング用排水処理施設の解体撤去工事）	クリーナース、おおぞら
11、12日	利用者・職員 定期健康診断	クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン
14日	利用者・職員 定期健康診断	美しの森
〃	エスコンフィールドHOKKAIDO見学（法人創立60周年記念行事）	セルブさっぽろ
17日	2024年度新卒採用 法人説明・見学会	法人本部
〃	新型コロナウイルスワクチン 病院接種	北広島施設
19日	キッチンカーイベント（法人創立60周年記念行事）	クリーナース、おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン
22日	広栄・中央町内会 秋の一斉清掃	エルフィン
〃	新型コロナウイルスワクチン 病院接種	北広島施設
25日	利用者・職員 定期健康診断	セルブさっぽろ、やまはな
27日	利用者の工賃向上と就労支援を考える研修	クリーナース、おおぞら、法人本部
〃	新型コロナウイルスワクチン 巡回接種	北広島施設
〃	2024年度新卒採用 法人説明・見学会	法人本部
29日	社会見学（エスコンフィールドHOKKAIDO）	エルフィン
11月1日	辞令交付式	法人本部
2日	インフルエンザ予防接種	セルブさっぽろ、やまはな
7日	新型コロナウイルスワクチン 病院接種	北広島施設
9日	澁谷税理士による税務確認	法人本部
〃	サード・アイ合同会社による第三者評価	クリーナース
〃	第2回西の里地域たすけあい会議	エルフィン
10日	新型コロナウイルスワクチン巡回接種	北広島施設

開催日	行事・事業内容	
11月14日	新型コロナウイルスワクチン病院接種	北広島施設
17日	新型コロナウイルスワクチン巡回接種	北広島施設
21日	インフルエンザ予防接種	エイト、法人本部
22日	第3四半期監事監査（野村監事・佐藤監事）	クリーナーズ、おおぞら、法人本部
24日	新型コロナワクチン巡回接種	北広島施設
27～29日	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
28日	インフルエンザ予防接種	おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン
〃	監事と会計監査人とのコミュニケーション	法人本部
12月5日	インフルエンザ予防接種	エイト、法人本部
7日	2024年度新卒者採用試験	法人本部
12日	2024年度新卒採用 法人説明・見学会	法人本部
〃	インフルエンザ予防接種	おおぞら、クリーニング事業部、エルフィン
15日	インフルエンザ予防接種	クリーナーズ、おおぞら、エルフィン、美しの森、法人本部
19日	インフルエンザ予防接種	エイト、エルフィン、美しの森、法人本部
22日	2024年度新卒採用 法人説明・見学会	法人本部
27日	札幌市による施設運営指導監査	美しの森
1月12日	2024年度新卒者採用試験	法人本部
16～18日	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
25日	サード・アイ合同会社による第三者評価	クリーナーズ
26日	法人本部記念会食（法人創立60周年記念行事）	法人本部
29日	2024年度新卒採用 法人説明・見学会	法人本部
2月1日	一般競争入札（セルプ業務用ガス冷暖房設備の更新）	セルプさっぽろ
2日	2024年度新卒者採用試験	法人本部
8日	針供養	セルプさっぽろ
9日	正職員登用試験（一次）	法人本部
15日	北海道ビール園会食（法人創立60周年記念行事）	やまはな
19日	2024年度新卒採用者内定式	法人本部
〃	正職員登用試験（二次）	法人本部
3月1日	北海道北広島西高等学校 卒業式	法人本部
〃	北海道札幌視覚支援学校 卒業式	美しの森
〃	定期健康診断	セルプさっぽろ、やまはな
2日	定期健康診断	美しの森

開催日	行事・事業内容	
3月2日	学校法人札幌日本大学学園札幌日本大学高等学校 卒業式	法人本部
5～7日	定期健康診断	
6日	監査法人ライトハウスによる会計監査	法人本部
7日	第3回西の里地域たすけあい会議	エルフィン
9日	北ひろしま福祉会主催：炊き出し訓練	クリーナース
15日	学校法人北海道星槎学園 星槎道都大学 卒業証書・学位授与式	法人本部
16日	緑の妖精やまちゃんマジックショー（土曜日開所）	
17日	マイナビ福祉・介護業界就職セミナー	法人本部
26日	第4四半期監事監査（野村監事）	美しの森、セルプさっぽろ、法人本部

## 8. 施設見学の受入れ状況

### 月別来所者数

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クリーナーズ	0	8	8	5	8	0	20	3	0	2	2	6	62
おおぞら	7	14	36	33	43	63	40	29	12	13	2	8	300
エイト	1	1	2	1	5	6	0	24	5	3	0	5	53
美しの森	2	0	0	0	2	0	2	3	2	3	2	0	16
セルプさっぽろ	2	11	4	30	6	12	8	5	3	0	15	0	96
エルフィンホーム	9	4	6	16	41	34	39	2	12	0	0	6	169
合計	21	38	56	85	105	115	109	66	34	21	21	25	696

### 関係機関別来所件数

(件)

	学校	福祉施設	相談事業所	公的機関	一般(企業・名)	その他	合計
クリーナーズ	10	1	1	6	5	0	23
おおぞら	32	4	9	1	2	0	48
エイト	13	2	1	1	0	0	17
美しの森	2	0	4	0	1	0	7
セルプさっぽろ	21	0	1	3	0	0	25
エルフィンホーム	28	1	2	0	4	0	35
合計	106	8	18	11	12	0	155

## 9. 職場実習の受入れ状況

### 月別職場実習等受け入れ延べ人数

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
クリーナース	1	0	1	1	3	1	0	1	0	0	0	0	8
おおぞら	1	3	9	7	6	3	4	4	2	3	2	2	46
エイト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
美しい森	0	0	3	0	3	1	0	0	0	0	2	0	9
セルプさっぽろ	0	0	9	3	0	1	2	0	0	0	0	0	15
エルフィン	0	0	4	2	1	1	1	1	0	2	2	0	14
合計	2	3	26	13	13	7	7	6	2	5	8	2	94

### 実習者の内訳

(名)

	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	大学・一般	その他	合計
クリーナース	0	0	0	0	0	0	8	0	8
おおぞら	1	10	10	1	7	5	11	0	45
エイト	0	0	0	0	0	0	2	0	2
美しい森	0	0	0	0	0	0	10	0	10
セルプさっぽろ	0	0	12	0	1	2	0	0	15
エルフィン	0	0	0	1	4	3	6	0	14
合計	1	10	22	2	12	10	37	0	94



## 10. 施設設備整備実施報告

### (1) 法人本部

単位：千円(税込)

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

### (2) リハビリー・クリーナーズ

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

### (3) リハビリー・おおぞら

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
2	66,000	2	54,230	82.1			2	54,230

### (4) クリーニング事業部

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

### (5) リハビリー・エイト

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

### (6) 美しい森

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

### (7) セルプさっぽろ/ウェルプラザやまはな

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	25,500	1	20,570	80.7			1	20,570

### (8) 地域福祉推進室/エルフィンホーム

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

### (9) ポプルス

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

### (10) 総 計

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
3	91,500	3	74,800	81.7			3	74,800

※上記記載の施設設備整備は、＜建設工事：税込1,000万円、機械設備・什器備品・車両購入：税込500万円、建物・外構修繕工事・機械製造、外部委託等の請負、給食委託業務：税込300万円＞を超える実施事業のみの掲載とし、その他の事業案件は含まない。

※実施率＝年度計画に対する実施率

## ○事業所別実施状況

### (3) リハビリー・おおぞら

< 更新 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
クリーニング用排水処理施設の更新事業	44,000	-	39,380	-	10月完了
合計	44,000	0	39,380	0	

< 改修・修繕 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
排水処理既存施設の解体撤去工事	22,000	-	14,850	-	11月完了
合計	22,000	0	14,850	0	

### (7) セルプさっぽろ/ウェルプラザやまはな

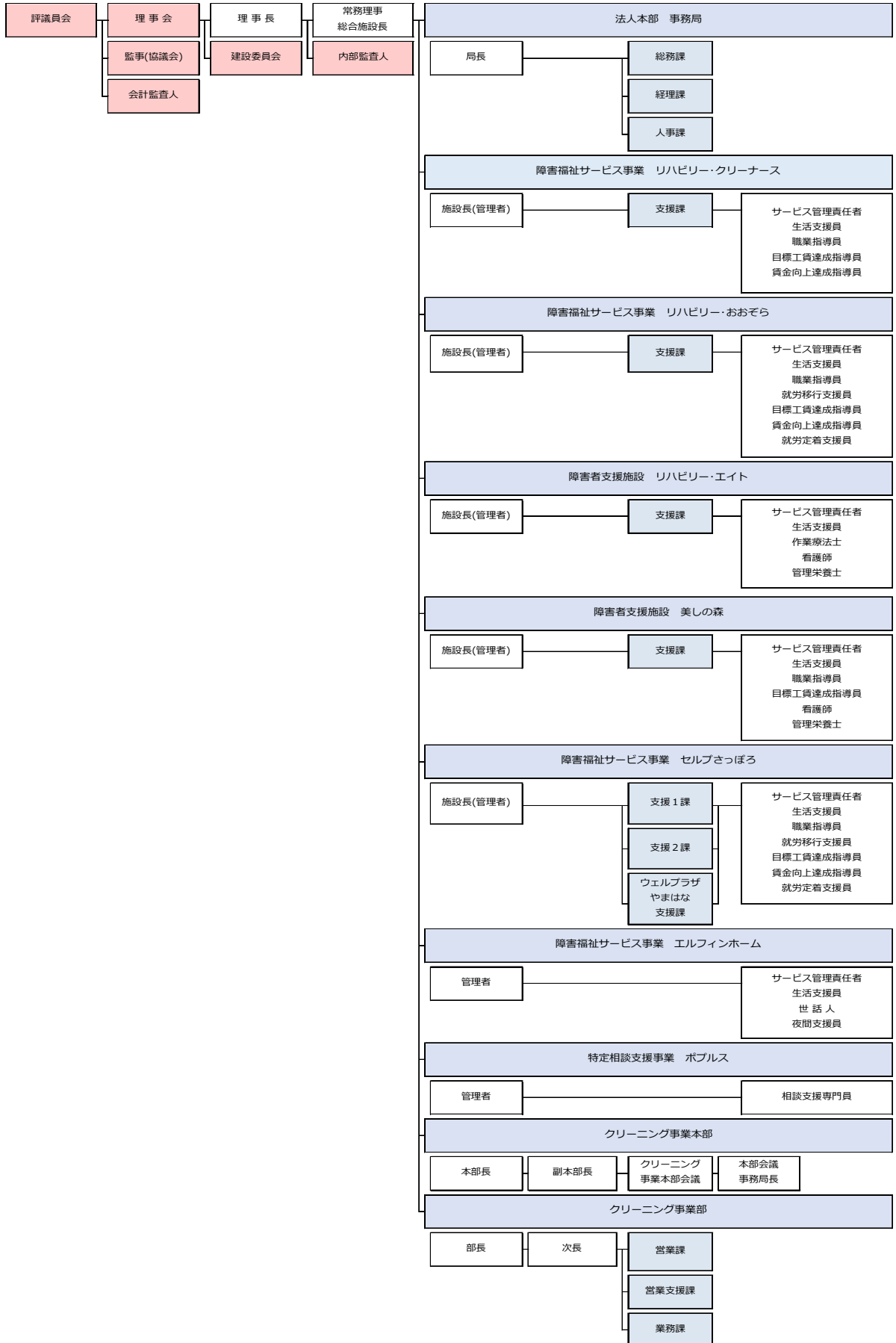
< 更新 >

単位：千円(税込)

事業	予算計上額	実施額		未実施額	備考
		契約完了	事業完了		
業務用ガス冷暖房設備の更新(月寒事業所)	25,500	20,570	-	-	2024年10月完了予定
合計	25,500	20,570	-	0	

# 11. 組織図

(2024年3月31日現在)



## 12. 利用者・職員の在籍状況

### 利用者数及び従業員数

(2024年3月31日現在)

	利 用 者										従 業 員(内福祉事業職員)					合 計
	生 活 介 護	就 労 移 行	就 労 継 続 A 型	就 労 継 続 B 型	施 設 入 所	共 同 生 活 援 助	就 労 定 着	生 活 困 窮 者 就 労 訓 練	小 計	(前 年 末 比)	正 職 員	嘱 託 職 員	契 約 職 員	小 計	(前 年 末 比)	
(1) リハビリ・ クリーナーズ			15	62				0	77	3	20 (10)	1 (0)	17 (5)	38 (15)	3 (2)	115
(2) リハビリ・ おおぞら		2	29	64				3	98	5	45 (16)		14 (3)	59 (19)	0 (0)	157
(3) リハビリ・ エイト	59				40				99	4	19 (19)		4 (4)	23 (23)	0 (0)	122
(4) 美しい森	69			19	30				118	0	22 (22)	1 (1)		23 (23)	0 (0)	144
(5) セルフ さっぽろ		3	7 (7)	96 (11)				4	110 (18)	0 (0)	18 (18)		2 (2)	20 (20)	0 (0)	130
(6) エルフィン ホーム						44			44	3	3 (3)	1 (1)	1 (1)	5 (5)	-1 (-1)	49
(7) ポプルス											2 (2)			2 (2)	0 (0)	2
(8) 法人本部											6 (6)			6 (6)	2 (2)	6
総 計	128	5	51	244	70	44	7	0	546	15	135 (96)	3 (2)	38 (15)	176 (113)	4 (3)	722
(前年末比)	4	1	2	3	0	3	2	0	15		1 (1)	0 (0)	3 (2)	4 (3)	-7 (-6)	4
特定相談支援事業所 ポプルス	利用登録者数								172	0						172

- 備 考
- 利用者数は、サービス利用契約に基づく、サービス毎の提供者数で計算している。
  - セルフ利用者の( )は、内ウェルプラザやまはな利用者の人数である。
  - 施設入所、共同生活援助、児童自立生活援助は、夜間等の支援のため、日中活動及び従業員数の人数に重複している。
  - パート職員 152名は除いている。  
(クリーナーズのクリーニング取次店従業員及びおおぞらのハウスキーパー等)